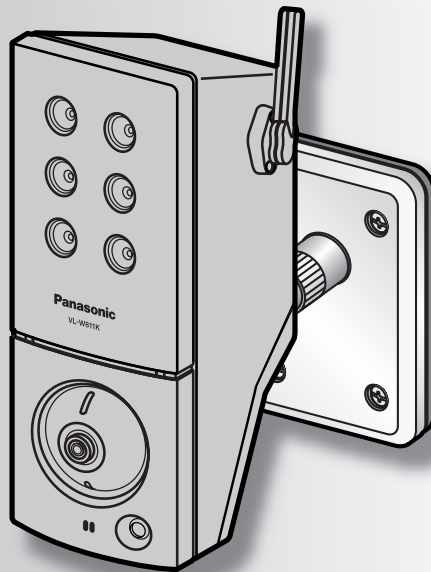
Panasonic®

増設可能な機種
〔2006年11月現在〕
品番：VL-SW100K　（親機 VL-MW100K）
VL-SW100MK（親機 VL-MW100K）
VL-SW102K　（親機 VL-MW102K）
VL-SW102AK（親機 VL-MW102K）
VL-SW104K　（親機 VL-MW104K）
VL-SV104K　（親機 VL-MW104K）
VL-SW105K　（親機 VL-MW104K）
VL-SW130K　（親機 VL-MW130K）
VL-SW150K　（親機 VL-MW150K）
〔2006年12月発売予定〕
品番：VL-SV130K　（親機 VL-MW130K）
（増設できる機種は追加になることがあります）

取扱説明書 工事説明付き

センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

品番 **VL-W811K**（ブイ エル ダブリュー ケイ）

はじめに
使いかた
必要なとき
工事説明

- **工事は、お買い上げの販売店に依頼されることをお勧めします。**
- **工事をされる方へ**
  必ず、本機をドアホン親機に登録（増設）してから、設置工事を行ってください。

このたびは、センサーライト付屋外ワイヤレスカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（3～5、35、36ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
■本書では、センサーライト付屋外ワイヤレスカメラを「カメラ」と表記しています。

もくじ

はじめに

●付属品・添付品は…
34 ページに記載しています。

必要なとき

使いかた

工事説明

■本機を増設するテレビドアホンの取扱説明書とあわせてよくお読みください。

VL-SW100（M）K/SW102（A）K/SW104K/SV104K/SW105Kをご使用の場合、カメラの接続例は屋内用ワイヤレスカメラ（VL-W800）です。本機とは下記の機能などが異なりますので、ご注意ください。

- 人感（熱）センサー反応時の撮影間隔（☞ 17～20ページ）
- 「カメラ出力音」「露出補正」など、カメラの機能設定の一部（☞ 23、24ページ）

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

■分解・修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

●修理は販売店へご相談ください。

■機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

禁止

火災・感電の原因になります。

●ぬらした場合は、電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●使用を中止し、販売店へご相談ください。

■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

■電源コードを引っ張ったり、ぶらさがったりしない

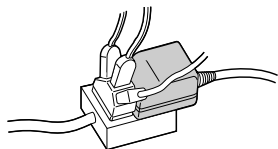
禁止

電源コードが抜けることによる感電や、カメラの落下によるけがの原因になります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

■コンテントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■電源プラグをぬらさない(電源プラグは防水構造ではありません。)

水ぬれ禁止

発火・感電の原因になります。

●ぬらした場合は、電源プラグに手を触れず、販売店にご相談ください。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■雷が鳴ったら本体・電源プラグ・電源コードに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■医用電気機器の近くでの設置や使用をしない
(手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない)

禁止

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠ 警告

■ホースなどで直接水をかけない

禁止

火災・感電の原因になります。

●ぬらした場合は、電源プラグを抜いて、
販売店にご相談ください。

■心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm 以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

■火気を近づけない

火気禁止

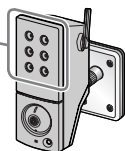
火災の原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■LED ライト点灯中、または消灯後しばらくの間はライト周辺に注意

高温注意

周辺が高温になっていることがあり、やけどの原因になることがあります。

■LED ライト点灯時にライトを直視しない

禁止

目を傷める原因になることがあります。

■スピーカーに耳を近づけて使用しない

禁止

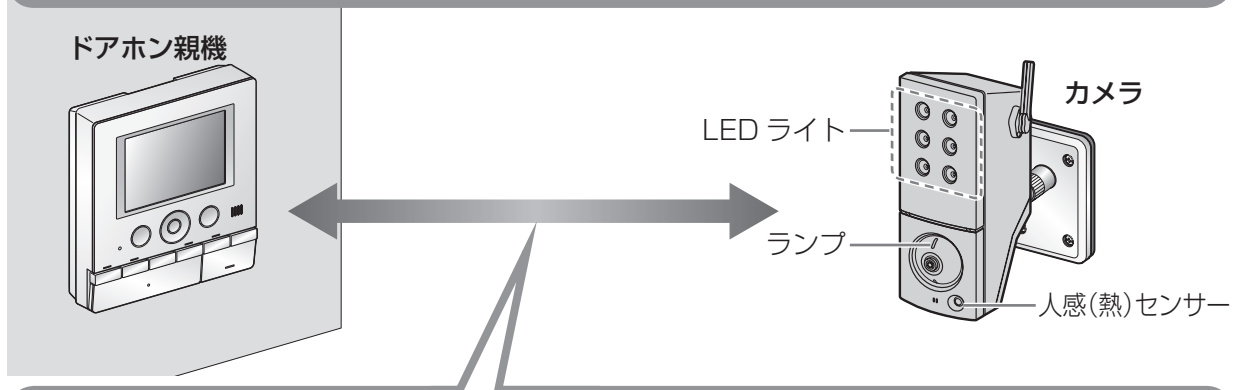
急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因になることがあります。

使用上のお願い

電波を使う機器から離す

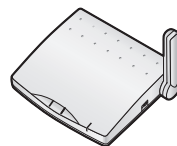
電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器から約 3 m 以上離してください。

● 電子レンジ
● 無線 LAN 機器(ルーター・AV 機器・防犯機器など)
● ワイヤレス AV 機器(テレビ・ステレオ・パソコンなど)
その他、下記の機器も影響が出る場合があります。

- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム
(書店や CD ショップなど)
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- マイクロ波治療器
- デジタルコードレス電話機(ファクス)
- その他、Bluetooth® 対応機器や VICS
(道路交通情報通信システム)など

ドアホン親機とカメラの間は…

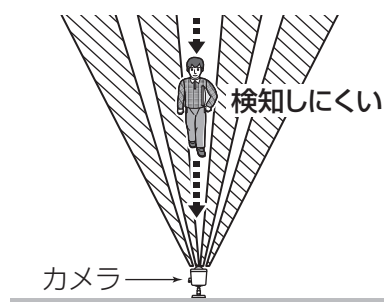
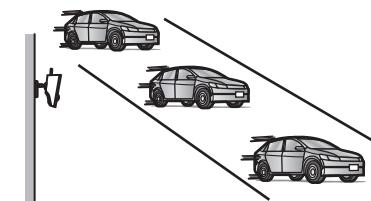
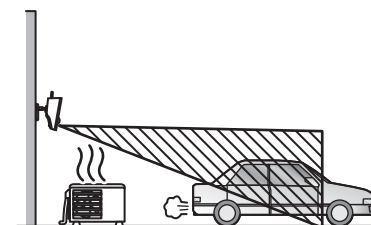
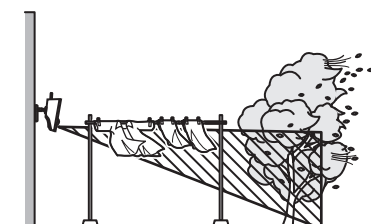
● 間に何も障害物がない場合、カメラはドアホン親機から見通し約 100 m 以内の距離で使えます。
● ドアホン親機との距離が離れていたり、次のような障害物などがあると、電波が弱くなり、通話が途切れたり、映像が乱れたり、映像の更新が遅くなったりして、使えないことがあります。
(カメラのランプが赤点滅します。)

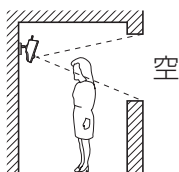
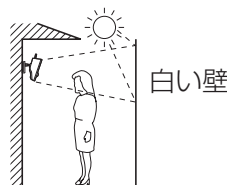
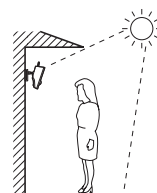
- 金属製のドアや雨戸、防火ガラス
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリート、石、レンガやトタン製の壁
- 壁を何枚もへだてたところ

● 上記のような場合、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。
(☞ ドアホン親機の取扱説明書)

(KX-FAN1)

● 無線接続のため、突発的な電波障害などが発生すると、カメラの映像がドアホン親機に届かないことがあります。

こんなところには設置しない（誤動作、変形、故障の原因）

- 真正面から人物が近づいてくるような場所
  （狭い通路などで、人が真正面から近づいてくるような場所）
  ➡ 9ページおよび、添付のちらし「本機を設置する前に必ずお読みください」をご覧ください。
- 車の交通量が多い道路がある場所
  （約５ｍ以上離れていても、車にはセンサー反応します。）
  ➡ 9ページおよび、添付のちらし「本機を設置する前に必ずお読みください」をご覧ください。
- **換気扇、エアコンの室外機、給湯器などの風や、車の排気ガスなどの影響を受ける場所**
  （急激な温度変化により、誤検知しやすくなります。）
- **風などで動くような植木、洗濯物などがある場所**
  （温度変化により、誤検知しやすくなります。）

- 直射日光があたる場所や外灯の真下など、周囲の温度が高くなる場所
- 振動・衝撃や、反響の多い場所
- 火気・熱器具や、磁石などの磁気の近く
- 前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
- 油汚れがついたり、蒸気がかかる場所
- 携帯電話など強い電波を発する製品の近く
- 硫化水素、リン、アンモニア、炭素、酸、ほこり、有毒ガスなどの発生する場所
- 海岸の近くや直接潮風があたる場所、温泉地の硫黄環境
  （塩害などにより製品寿命が短くなることがあります。）
- 昼間でも木陰などで影になったり、夜でも外灯で明るくなるなど、明るさが変わりやすい場所
- 下記のように逆光になる場所（人の顔が暗く映り、識別しにくくなります。）

マンションの階上など、背景に空の占める割合の大きい場所

正面に、直射日光が反射する白壁がある場所

直射日光があたるような、明るい場所

使用上のお願い（つづき）

● 人感(熱)センサーの検知範囲とカメラの撮影範囲について(周囲温度：20 ℃時)

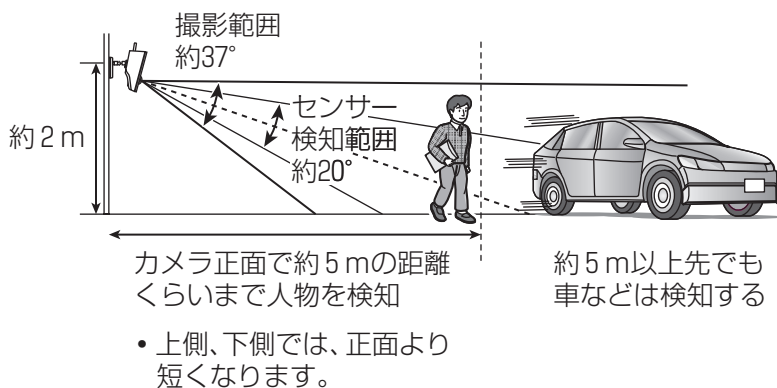
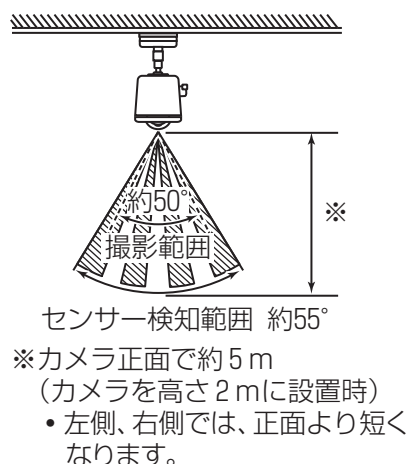
垂直方向(カメラを横から見たとき)
- 約2 mの高さで、約15°下向きに設置した場合のイメージ

撮影範囲
約37°
センサー
検知範囲
約20°
約２ｍ

カメラ正面で約５ｍの距離くらいまで人物を検知
- 上側、下側では、正面より短くなります。

約５ｍ以上先でも車などは検知する

水平方向
(カメラを上から見たとき)

センサー検知範囲　約55°
※カメラ正面で約５ｍ
(カメラを高さ２ｍに設置時)
- 左側、右側では、正面より短くなります。

人感(熱)センサー：

● 温度をもつものから自然に放射される赤外線によって生じる温度変化を検知するセンサー。
これにより、人や車、動物などの動きを検知できます。

● **センサーは横からの動きによる温度変化を検知しやすく、正面からの動きは検知しにくくなります。カメラの前を人が横切るような場所に設置してください。(右ページ、および添付のちらし「本機を設置する前に必ずお読みください」もご覧ください。)**

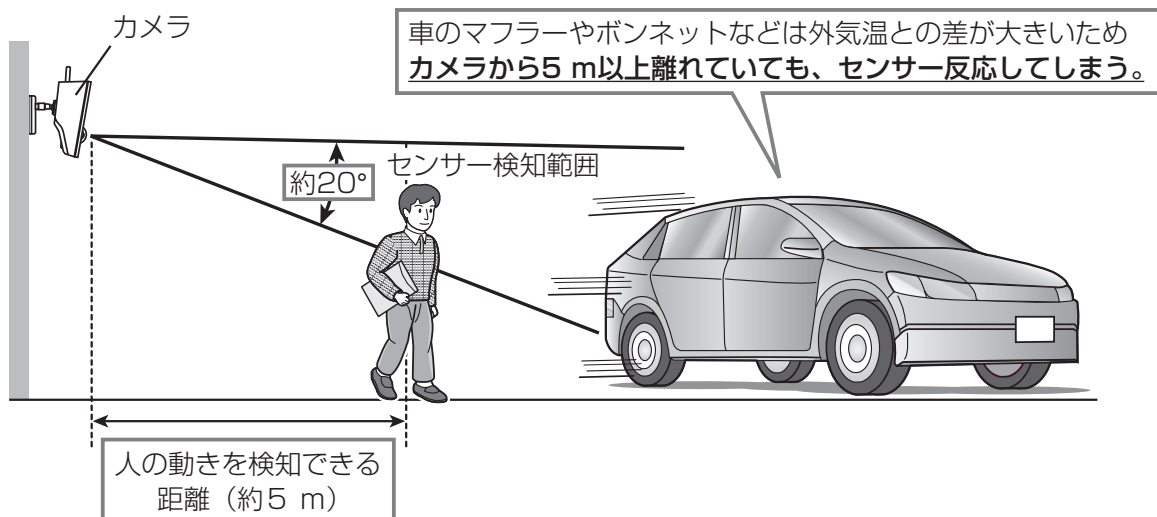
● センサーの検知範囲は、環境温度や対象の移動スピードなどの条件により大きく変化します。
冬場のように温度が低いときは、検知距離が 5 m より長くなることがあります。
「人感(熱)センサーの検知範囲を調整する」(☞ 54、55 ページ)を確認して、設置場所を決めてください。

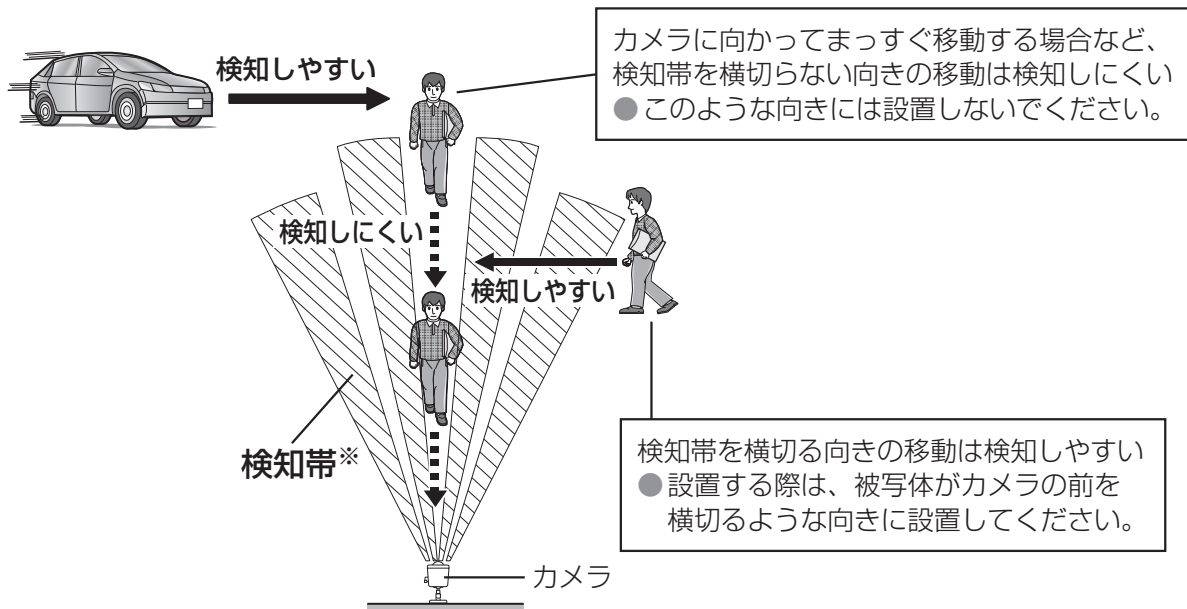
● センサーは次の場合にも反応することがあります。
- 車、または犬などの小動物など
- 換気扇やエアコンの室外機からの風
- 風でカメラ周辺の温度が変化した場合
- 検知範囲内に入る雨や雪

● 次の場合は、検知範囲内でもセンサー反応しないことがあります。
- 夏場のように周囲の環境温度と人の表面温度の差が少ない場合
- 冬場など厚手の服を着ている場合
- センサー部に雨、雪が付いた場合

● 人感(熱)センサーの水平方向の検知範囲を調整することができます。(☞ 54、55 ページ)

● 人感(熱)センサーを使うことによって生じた事故などの結果について、当社は一切の責任を負いません。
常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、人感(熱)センサーを使わないことをお勧めします。
人感(熱)センサーは常に高い信頼性を求められる用途には適していません。

人感(熱)センサーの検知範囲(周囲の温度が約20 ℃のとき)

● 夏場など外気温が高いときは、被写体(人の体温など)との**温度差が小さくなり、センサー検知しにくくなります。**逆に、夜間や冬場など外気温が低くなったときは、**温度差が大きくなるため、センサー検知しやすくなります。**

人感(熱)センサーの仕組み(検知しやすい向き、検知しにくい向き)

※ 熱を検知する帯で、人感(熱)センサーから複数本出ています。
この検知帯域に熱源(人や車など)が出入りすると、温度変化が発生します。
センサーはその温度変化を検知して動作します。
上図の破線矢印(▪▪▪▪▶)のように、カメラに向かってまっすぐ移動すると、検知帯への出入りが少ないため検知しにくくなります。

使用上のお願い（つづき）

電波について

● **本機は、2.4 ～ 2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です**
移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS 方式」、与干渉距離は 80 m です。本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4FH8

● **本機の使用周波数に関わるご注意**
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター（☞ 57 ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター（☞ 57 ページ）へお問い合わせください。

傍受について

本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、ドアホン親機との通信は、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

● **傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。**

プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

そ の 他

● 分解・改造することは法律で禁じられています。
（故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。）

● 本機は電源コード式です。電源コードをコンセントに差していないときは、動作しません。
容易に電源コードをコンセントから抜かれるような場所には設置しないことをお勧めします。
• 高い場所のコンセントにつなぐ、または電源直結による設置（☞ 49 ページ）など

● 停電すると、本機は使えません。

● スピーカーの音量は、カメラ設置場所周辺で騒音とみなされないように調整してください。
（☞ 23、24 ページ「カメラ出力音量」「カメラ受話音量」）

● 使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど記憶内容が変化・消失する場合があります。（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります。）

● レンズカバーにキズや汚れをつけないでください。
（カメラのレンズカバーに汚れをつけたり、物をあてたり、強く押さえたりすると、きれいに撮影できなくなったり、変形や故障の原因になります。）

各部のなまえとはたらき

アンテナ
- 上向きに立ててお使いください。
- 前側には動きません。

LED ライト
ライトの点灯のしかたは、裏面の LED ライト切替スイッチで切り替えることができます。（☞ 12 ページ）

レンズカバー

カメラレンズ

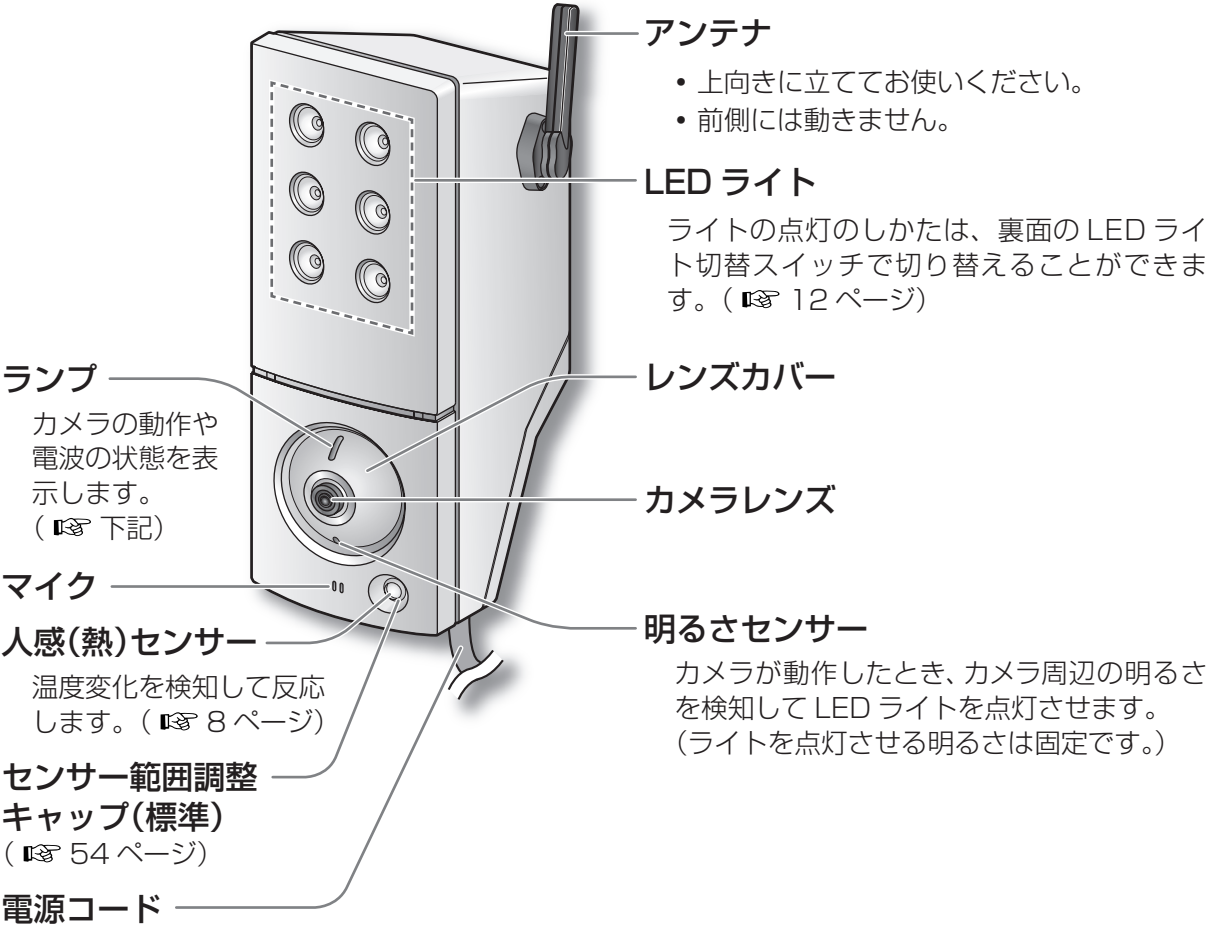
明るさセンサー
カメラが動作したとき、カメラ周辺の明るさを検知して LED ライトを点灯させます。（ライトを点灯させる明るさは固定です。）

ランプ
カメラの動作や電波の状態を表示します。（☞ 下記）

マイク

人感（熱）センサー
温度変化を検知して反応します。（☞ 8 ページ）

センサー範囲調整キャップ（標準）
（☞ 54 ページ）

電源コード

ランプ表示について

ランプは、下記のようにカメラの動作や電波の状態を表示します。

ランプ		状態
通信時	緑点滅	人感（熱）センサーが反応し、カメラから呼び出し中です。
	緑点滅（遅）	通信中です。
待ち受け時（電波状態表示）	緑点灯	強い ↑ この範囲で設置する ↓ 弱い　電波の状態を表しています。●**緑点灯になる場所への設置をお勧めします。**
	オレンジ点灯	
	赤点灯	
	赤点滅	電波が届かず、通信できません。（圏外）

● ランプ表示は、以下のように設定変更できます。（☞ 24 ページ「ランプ表示」）
- 常時（お買い上げ時の設定）：ランプを常に点灯させる
- 通信時　：モニターや通話時のみランプを点灯させる
- 消灯　　：ランプを常に消灯させる

各部のなまえとはたらき（つづき）

■ 裏 面

LED ライト切替スイッチ

カメラが動作したときのライトの点灯のしかたを選ぶことができます。
（切り替えは、先端の細いものを使って行ってください。）

スイッチの位置	動作
入（夜間）	：カメラ周辺が薄暗いまたは暗いと点灯する（お買い上げ時はこの位置です。）
入（常時）	：カメラ周辺の明るさに関係なく動作時は常に点灯する
切	：カメラが動作しても、点灯しない

登録スイッチ

ドアホン親機に登録するときに押します。（☞ 40 ページ）

外部入力端子

（☞ 38 ページ）

検知前撮りスイッチ

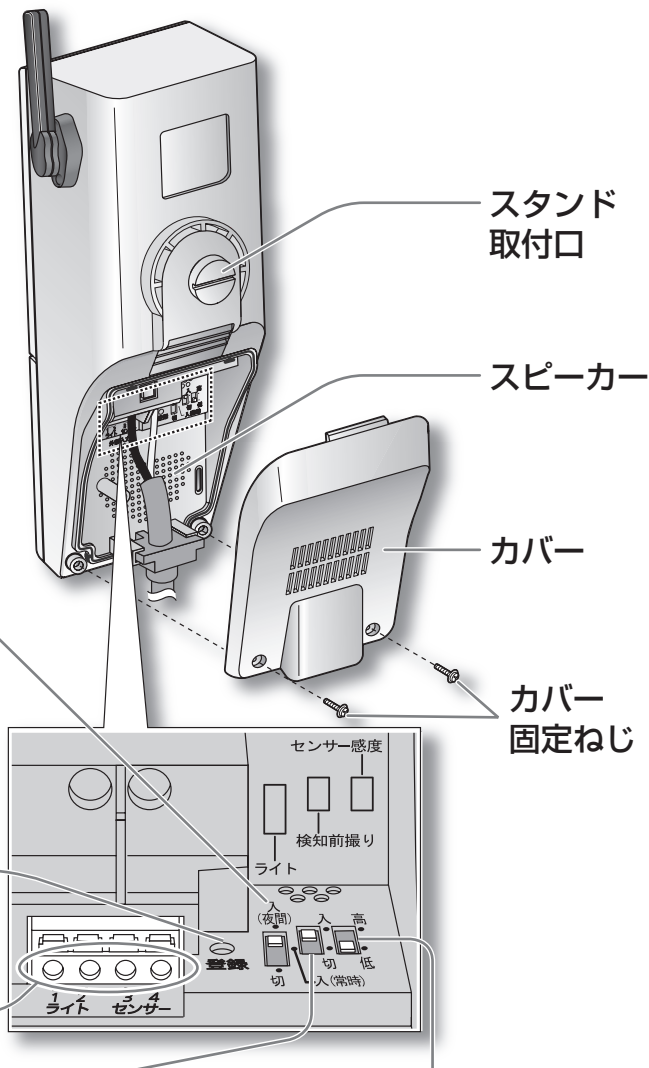
動く被写体を撮影しやすくするため、人感（熱）センサーが検知する直前の映像を 1 枚撮影するかしないかを選ぶことができます。

スイッチの位置	動作
入	：撮影する（お買い上げ時はこの位置です。）
切	：撮影しない

人感（熱）センサー感度切替スイッチ

人感（熱）センサーの感度の切り替えを行います。

スイッチの位置	動作
高	：センサーの感度が低いときに感度を上げます。
低	：センサーの感度が高すぎて誤動作しやすいときに、感度を下げます。（お買い上げ時はこの位置です。）

● ドアホン親機または子機で行う「人感センサー感度」設定（☞ 24 ページ）と組み合わせることによって 4 段階のセンサー感度調整ができます。

● LED ライト切替スイッチや、検知前撮りスイッチ、人感（熱）センサー感度切替スイッチを変更するときは、電源を切り、カメラをスタンドから外してください。
電源が入っていると、人感（熱）センサーが反応して LED ライトが点灯します。

カメラを使ってできること

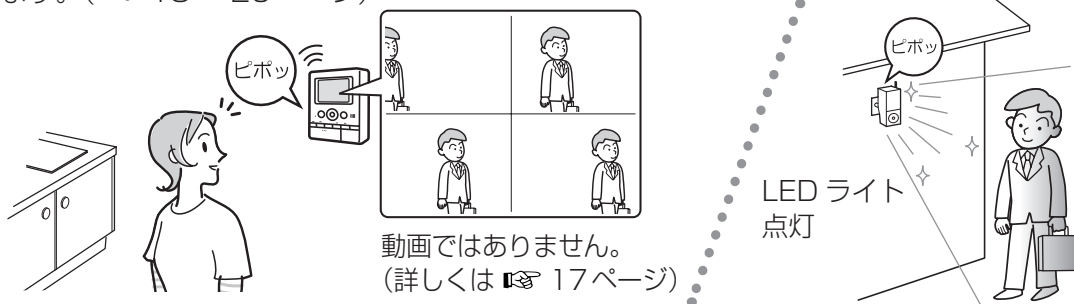
室内から、カメラ周辺の様子を確認できます(カメラモニター)

映像と音で確認でき、必要に応じてカメラ側への呼びかけもできます。(☞ 14 ページ)

動画ではありません。
(詳しくは ☞ 15 ページ)

人感(熱)センサーが検知すると…　(カメラ側) 音が鳴り、設定に応じて LED ライトが点灯します　(室内では) 呼出音が聞こえ、カメラ映像が表示されます

呼び出しに応答するとカメラ側の音を聞くことができ、必要に応じてカメラ側への呼びかけもできます。
(☞ 16 ページ)

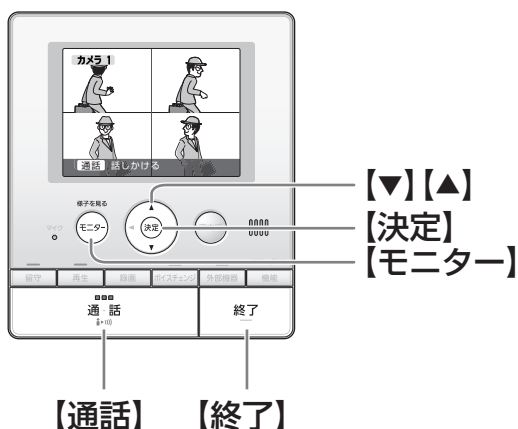
- センサー検知時の映像がドアホン親機に自動で録画されるので、留守の場合でもあとから確認できます。(☞ 18 〜 20 ページ)

動画ではありません。
(詳しくは ☞ 17ページ)

カメラの LED ライト	● お買い上げ時の設定では、センサー検知時やカメラモニター時にカメラ周辺が薄暗いまたは暗いと、点灯します。 常時点灯または消灯させることもできます。(☞ 左ページ「LED ライト切替スイッチ」)
カメラの画質	● ドアホンよりも多少劣ります。また、下記のような場合があります。 • 静止画のため、動いている人がぶれる　• 色合いが、実際の色と異なる • 逆光のとき、人の顔が暗くなる　• 暗い場所では画質が低下する • 蛍光灯を映すと、周りがかすんだようになる ● 夜間は LED ライトが点灯しますが、カメラから2～ 3 m 以上離れると、人物などの識別が難しくなります。 ● 画質について詳しくは(☞ 添付のちらし「本機を設置する前に必ずお読みください」)
カメラの機能設定	● 下記のような場合など、必要に応じてカメラの機能設定を変更できます。 (☞ 21 ～ 24 ページ) • 人感(熱)センサー検知時にカメラ側で鳴る音の種類を変えたい : **「カメラ出力音」** または、音の大きさを変えたい(消したい) : **「カメラ出力音量」** • 人感(熱)センサーを反応させたくない、 または、反応の時間間隔や自動録画の設定を変えたい : **「センサー種別」** ● 室内にカメラからの着信をさせず、人感(熱)センサーと LED ライトのみを動作させることもできます。(☞ 26 ページ)

カメラ周辺の様子を確認する（カメラモニター）

ドアホン親機や子機で、下記の操作をしてください。

● **下記の操作手順は、VL-SW130K/SV130K/SW150K を例に説明しています。**
その他のドアホン親機や子機の場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

● カメラモニター中に画面の明るさや受話音の大きさなどを変えることもできます。
詳しくは、お使いのドアホン親機や子機の取扱説明書をご覧ください。

1 【モニター】を押し、【▼】【▲】でモニターしたいカメラを選ぶ

ドアホン 1
ドアホン 2
カメラ 1
カメラ 2

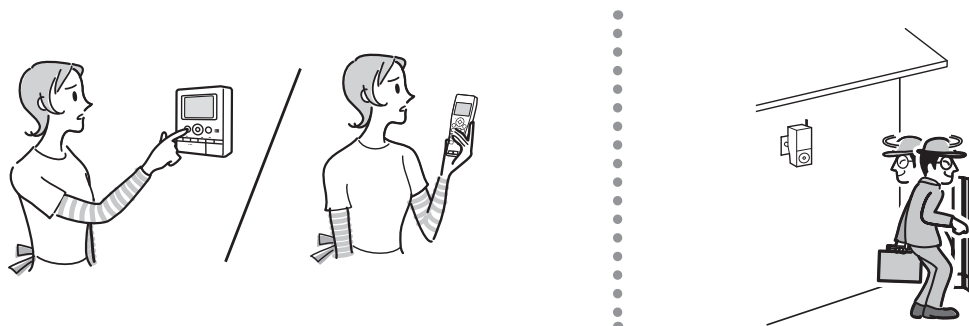
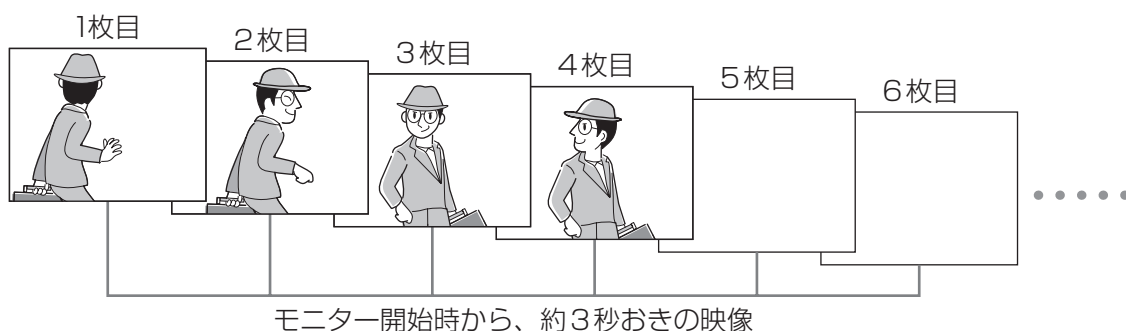
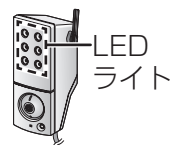
2 【決定】を押す

● 映像が映り、周囲の音が聞こえる
（こちらの声はカメラ側には聞こえません。）

● カメラ側に話しかけるには
【通話】を押す

3 終わったら、【終了】を押す

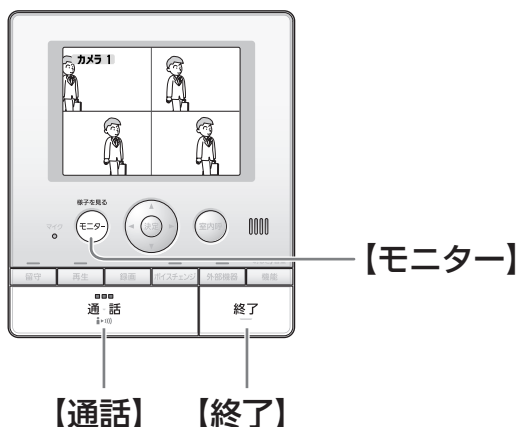
● **VL-SW104K/SV104K/SW105K にカメラを 3 台以上登録しているとき**
子機（VL-W600）でカメラと通話またはモニター中に、別のカメラが反応しても、室内への呼び出しができないことがあります。
（☞ 40 ページ「カメラの登録台数と制限事項について」）

カメラモニター時の映像について

下記の間隔で映像(静止画)が撮影され、ドアホン親機や子機の画面上で次々に更新しながら表示されます。**(動画ではありません。)**

● **カメラのLEDライトは、センサー検知時などの威嚇用です。**
カメラ側の設定により、左ページ手順2や16ページ手順1でライトが点灯※しますが、照明用の光量はありません。
※ モニターや通話を終了すると、約30秒後に消灯します。

● **下記のような場合、人の顔が識別しにくくなります。**
- 昼間など明るいときでも、カメラから約2 m以上離れたとき
  ただし、撮影時の被写体の場所(日陰・逆光・撮影角度など)によっては、2 m以内でも映りが悪くなったり、人の顔が識別しにくくなります。
- 夕方や夜間など、周りが暗いとき(画質が低下します)
- 動いている人を撮影するとき(画像がぶれるため、顔の識別が難しくなります)

カメラからの呼び出しに応答する

人感(熱)センサーが反応すると、室内に呼出音と映像でお知らせします。
ドアホン親機や子機で応答すると、カメラ側の音を聞くことができます。

● **下記の操作手順は、VL-SW130K/SV130K/SW150K を例に説明しています。**
その他のドアホン親機や子機の場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

● 画面の明るさや受話音の大きさなどを変えることもできます。
詳しくは、お使いのドアホン親機や子機の取扱説明書をご覧ください。

1 センサーが反応すると

呼出音が鳴り、
カメラの映像が映る

2 応答する(カメラ側の音を聞く)には

【モニター】を押す

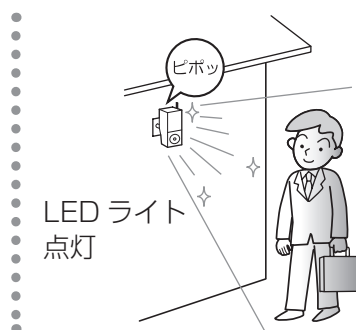
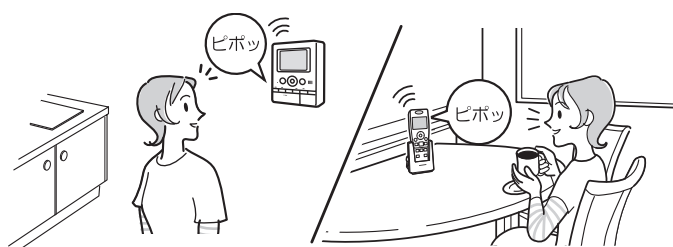
● こちらの声はカメラ側には聞こえません。
● カメラ側に話しかけるには
【通話】を押す

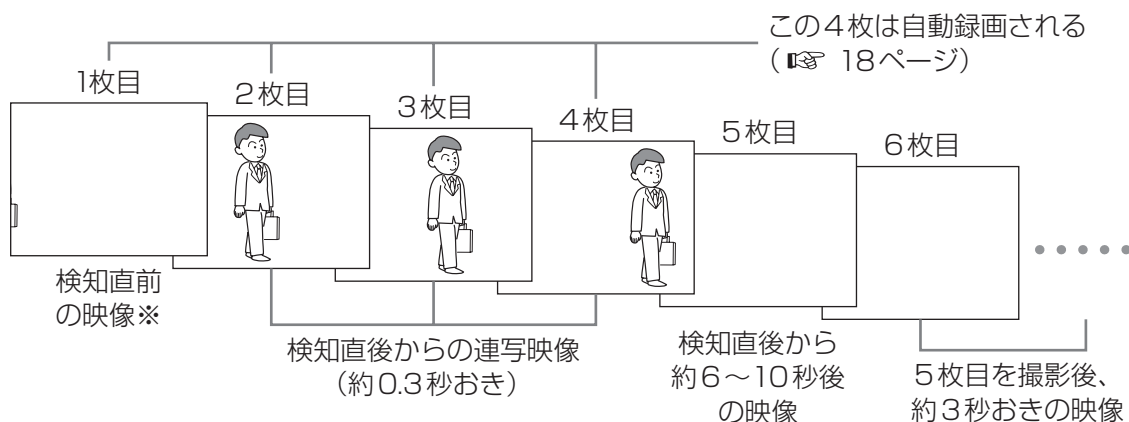
3 終わったら、

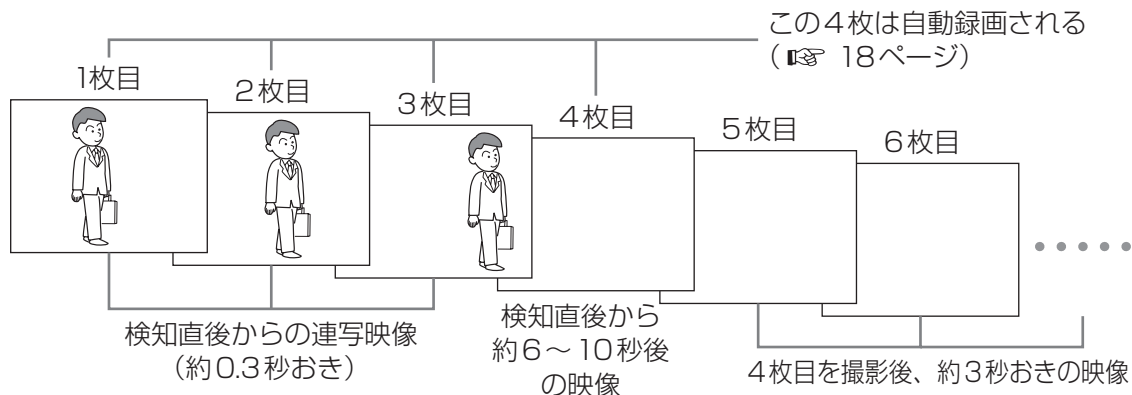
【終了】を押す

● ドアホン親機や子機にカメラからの着信をさせず、人感(熱)センサーと LED ライトのみを動作させるような設定もできます。(☞ 26 ページ)

● **VL-SW104K/SV104K/SW105K にカメラを 3 台以上登録しているとき**
子機(VL-W600)でカメラと通話またはモニター中に、別のカメラが反応しても、室内への呼び出しができないことがあります。
(☞ 40 ページ「カメラの登録台数と制限事項について」)

人感(熱)センサー反応時の映像について

下記の間隔で映像(静止画)が撮影され、ドアホン親機や子機の画面上で次々に更新しながら表示されます。**(動画ではありません。)**
また、1 ～ 4 枚目の映像は、検知前撮りスイッチの設定(☞ 12 ページ)によって異なります。

■検知前撮りスイッチ「入」の場合(お買い上げ時の設定)

※カメラ周辺が暗いときは、映像が暗くなります。
(センサー反応前映像のため、カメラ周辺が暗くても LED ライトは点灯しません。)
また、動きのある被写体などは、映像にぶれが生じることがあります。

■検知前撮りスイッチ「切」の場合

おしらせ
- 撮影間隔は、背景や被写体によってばらつくことがあります。

録画する

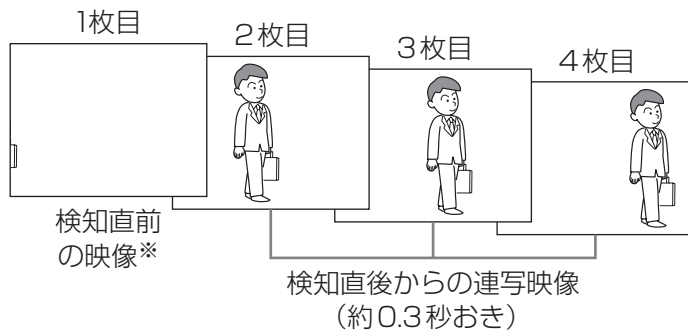
カメラの映像は、ドアホンの映像と合わせて最大 100 件までドアホン親機に録画(保存)できます。
録画件数は、設定により以下のように分けることもできます。

- VL-SW130K/SV130K/SW150K の場合：ドアホン(60 件)、カメラ(40 件)
- 上記以外の機種の場合：ドアホン(30 件)、カメラ(70 件)
  (☞ お使いのドアホン親機の取扱説明書「録画件数振り分け」または「録画枚数振分」)

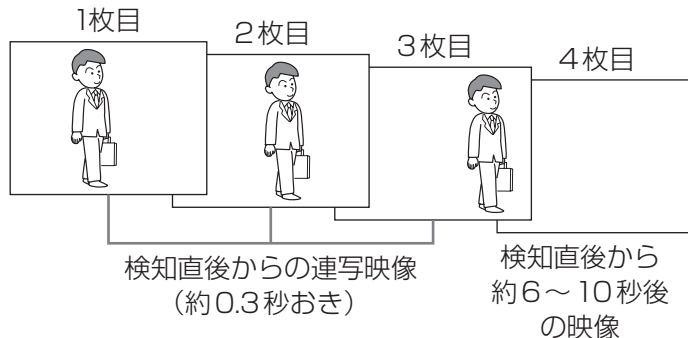
(在宅)自動録画

人感(熱)センサーが反応したときに撮影された最初の 4 枚が、自動的に録画されます。
(留守の場合も録画されるので、あとで確認できます。)

■検知前撮りスイッチ「入」の場合
(☞ 12 ページ)

1枚目
2枚目
3枚目
4枚目
検知直前の映像※
検知直後からの連写映像
(約0.3秒おき)

※ カメラ周辺が暗いときは、映像が暗くなります。
(センサー反応前の映像のため、カメラ周辺が暗くても LED ライトは点灯しません。)
また、動きのある被写体などは、映像にぶれが生じることがあります。

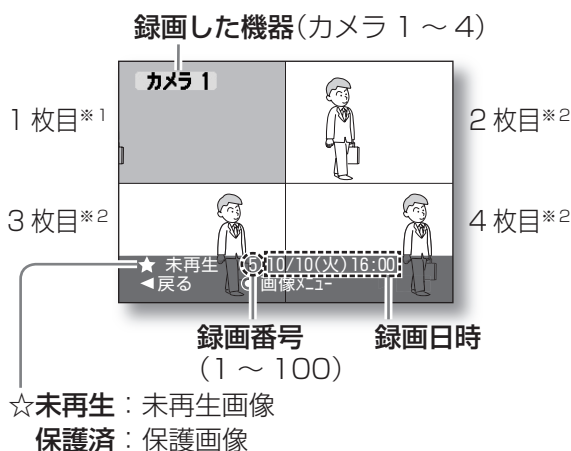
■検知前撮りスイッチ「切」の場合
(☞ 12 ページ)

1枚目
2枚目
3枚目
4枚目
検知直後からの連写映像
(約0.3秒おき)
検知直後から約6～10秒後の映像

- **ドアホン親機や子機で通話中やモニター中に、センサーが反応して呼び出しがあったとき**
  通話中やモニター中の機器でカメラの呼び出しに応答しないと、自動録画されません。**【モニター】**(または**【カメラ】**)を押して応答すると､最初に表示される下記の４枚を録画します。
  - 検知前撮りスイッチ「入」：センサー反応時の映像 1 ～ 4 枚(☞ 上記)
  - 検知前撮りスイッチ「切」：センサー反応時の映像 1 ～ 3 枚(☞ 上記)と応答時の映像 1 枚
- 自動録画しないように変更できます。(☞ 23 ページ「センサー種別」)
- **「センサー種別」の設定で、「(人感または外部入力) 20 秒 自動録画 ON」にしているとき (☞ 23 ページ)**
  カメラからの着信中に再度センサーが反応したときは、約３秒おきの映像を４枚、再度、自動録画します。
- 録画中に別の機器から着信があると、4 枚録画できないことがあります。
  (最低 1 枚は録画されます。)
- 手動でも録画できます。
  操作は、お使いのドアホン親機や子機の取扱説明書をご覧ください。

再生する 再生画面について

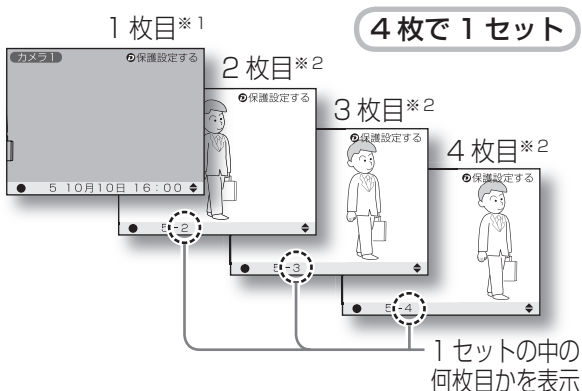
本機で撮影してドアホン親機に自動録画された画像は、再生画面で下記のように表示されます。

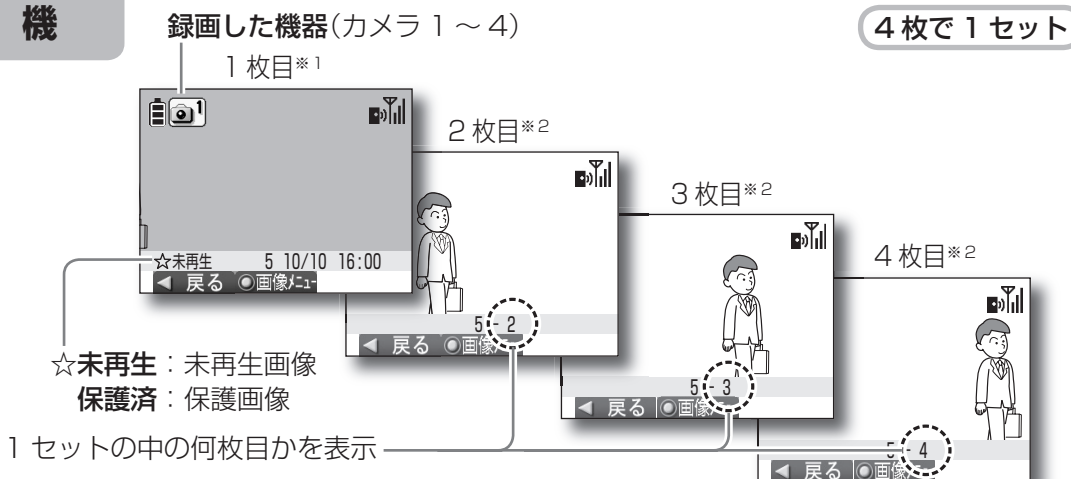
- 再生のしかたなど詳しくは、お使いのドアホン親機や子機の取扱説明書をご覧ください。
- 下記の再生画面は、VL-SW130K/SV130K/SW150K を例に説明しています。その他の機器の場合、画面に表示されるマークなどが多少異なります。

● 検知前撮りスイッチ「入」(☞ 12 ページ)で自動録画された画像 ●

ドアホン親機

■「4画面」表示の場合(お買い上げ時の設定)

■「1 画面」表示の場合

- VL-SW130K/SV130K/SW150K には、「1 画面」表示はありません。

- 「カメラ表示数」の設定(☞ ドアホン親機の取扱説明書)により、1 画面に変更できます。

子 機

※1 1 枚目　　:検知直前の画像(カメラ周辺が暗いときは画像が暗くなります。)
※2 2 ～ 4 枚目:検知直後からの連写画像(約 0.3 秒おき)

- 録画中に別の機器から着信があり、4 枚録画できなかったとき
  - 4 画面表示のとき:録画できた画像のみが表示され、それ以外は真っ黒になります。
  - 4 枚で 1 セットのとき:次の画像に切り替えたとき「録画中断がありました 次の画像を表示します」(子機 VL-W603 の場合)とメッセージ※が表示され、次の画像を表示します。
    ※メッセージは、お使いのドアホン親機、子機により多少異なります。

● 検知前撮りスイッチ「切」（☞ 12 ページ）で自動録画された画像 ●

ドアホン親機

■「4画面」表示の場合（お買い上げ時の設定）

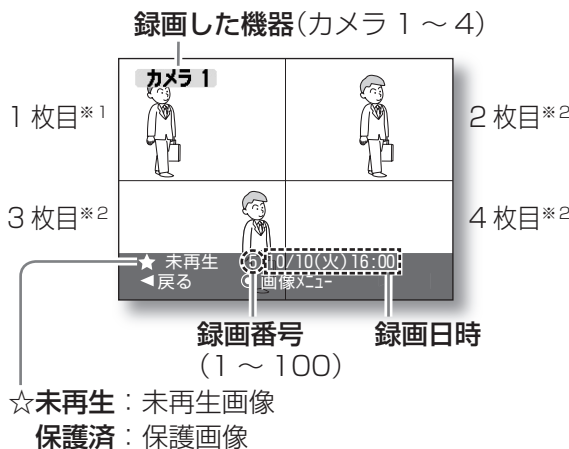
☆**未再生**：未再生画像
保護済：保護画像

■「1画面」表示の場合

● VL-SW130K/SV130K/SW150K には、「1 画面」表示はありません。

●「カメラ表示数」の設定（☞ ドアホン親機の取扱説明書）により、1 画面に変更できます。

子　機

☆**未再生**：未再生画像
保護済：保護画像

※1 1 ～ 3 枚目 ：検知直後からの連写画像（約 0.3 秒おき）
※2 4 枚目　　　：検知直後から約 6 秒～ 10 秒後の画像

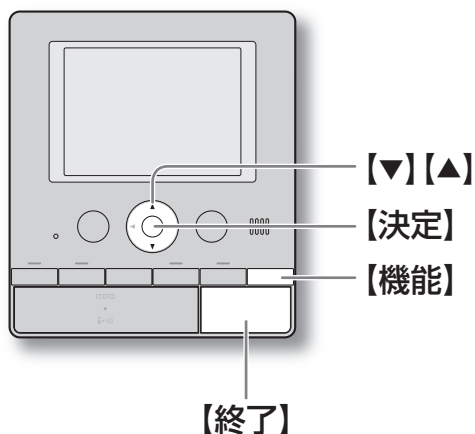
●**録画中に別の機器から着信があり、4 枚録画できなかったとき**
- 4 画面表示のとき：録画できた画像のみが表示され、それ以外は真っ黒になります。
- 4 枚で 1 セットのとき：次の画像に切り替えたとき「録画中断がありました 次の画像を表示します」（子機 VL-W603 の場合）とメッセージ※が表示され、次の画像を表示します。
※ メッセージは、お使いのドアホン親機、子機により多少異なります。

カメラの機能を変える（機能設定一覧表）

使いかたに合わせて、カメラの機能（☞ 23、24 ページ）を変更・設定できます。

VL-SW130K/SV130K/SW150K の場合

● 設定中に着信があったときや、約 90 秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

ドアホン親機

1 【機能】を押す

2 【▼】【▲】で カメラ を選び、【決定】を押す

3 【▼】【▲】で設定を変えたいカメラの番号を選び、【決定】を押す

4 【▼】【▲】で変更したい機能を選び、【決定】を押す

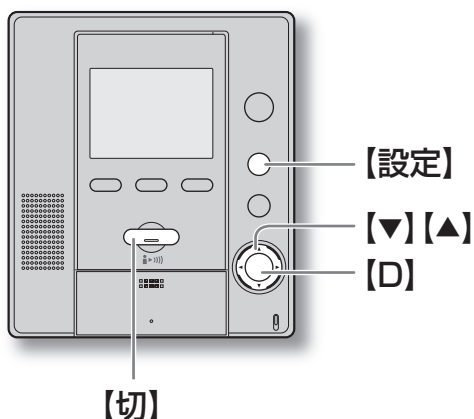
5 【▼】【▲】で設定内容を選び、【決定】を押す

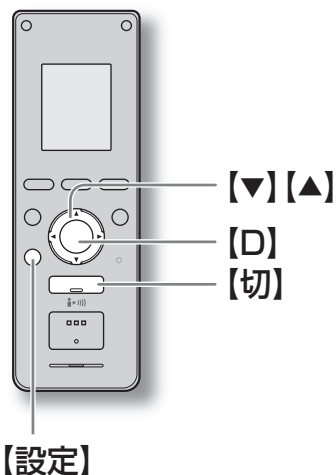
● 設定が完了すると、「ピー」と鳴る

6 終わったら、【終了】を押す

カメラの機能を変える（機能設定一覧表）（つづき）

● VL-SW100(M)K/SW102(A)K/SW104K/SV104K/SW105Kの場合 ●

● 設定中に着信があったときや、約90秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。
● VL-SW100（M）Kをお使いの場合は、子機（VL-W600）で設定してください。
（子機VL-W602を増設した場合は、VL-W602でも設定できます。設定のしかたは、VL-W602の取扱説明書をご覧ください。）

ドアホン親機

子機（VL-W600）

1 機能設定の画面が出るまで、
【設定】を約 3 秒間押す

● 下の画面は、ドアホン親機での表示です。

2
【▼】【▲】で カメラ を選び、【D】を押す

3
【▼】【▲】で設定を変えたいカメラの番号を選び、【D】を押す

4
【▼】【▲】で変更したい機能を選び、【D】を押す

5
【▼】【▲】で設定内容を選び、【D】を押す

● 設定が完了すると、「ピー」と鳴る

6 終わったら、
【切】を押す

● **カメラの機能について**
ドアホン親機や子機の取扱説明書に記載の「カメラ機能」の内容は、屋内用ワイヤレスカメラ（VL-W800）のもので、本機の機能と一部異なります。機能の違い（ ☞ 右ページ）をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■ 屋内用ワイヤレスカメラ(VL-W800)との機能の違い

VL-W800 と VL-W811K(本機)では、カメラの機能一覧表の中の下記機能が異なります。
2 つのカメラを併用する場合は、違いをよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

	VL-W800(屋内用)	VL-W811K(屋外用:本機)
カメラ出力音	音 B の出力音 (ポポポポポポ…)	音 B の出力音 (ピーポーピーポーピーポー…)
センサー種別	外部入力端子に別売の機器を接続したときは、設定値を「外部入力」に変更する	外付けセンサー端子に別売の機器を接続したときは、設定値を「外部入力」に変更する
カメラマイク感度	お買い上げ時の設定:「中」	お買い上げ時の設定:「大」
露出補正	設定した露出補正は、カメラ周辺の明るさに関係なくはたらく	設定した露出補正は、カメラ周辺が暗いときだけはたらく
上下反転表示	設定すると、画像を反転できる	設定しても、機能しない(反転しない)

カメラの機能

設定変更は、21、22 ページの手順に従ってドアホン親機または子機(VL-W600/W602)で行ってください。カメラが複数台あるときは、それぞれのカメラに対して個別に設定できます。

[ ] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機　能	機能の概要と設定内容
カメラ出力音	センサーが反応したときに、カメラから出る音の種類を選ぶ [音 A]、音 B、音 C、音 D ● VL-SW100(M)K/SW102(A)K/SW104K/SV104K/SW105Kの場合、音の種類を選ぶとき、選んだ音を確認するには【▶】を押す
カメラ出力音量	センサーが反応したときに、カメラから出る音の大きさを選ぶ 大、[中]、小、切
センサー種別	センサー反応の種別(人感 / 外部入力 /OFF)と次のセンサー反応までの時間(60 秒 /20 秒 / 常時)、センサー反応時の自動録画の有無(ON/OFF)を選ぶ [人感 /60 秒 自動録画 ON]、人感 /60 秒 自動録画 OFF、 人感 /20 秒 自動録画 ON、人感 /20 秒 自動録画 OFF、 外部入力 /60 秒 自動録画 ON、外部入力 /60 秒 自動録画 OFF、 外部入力 /20 秒 自動録画 ON、外部入力 /20 秒 自動録画 OFF、 外部入力 / 常時 自動録画 OFF、OFF(センサー反応しない) ● 外付けセンサー端子に機器を接続して使うとき(☞ 38 ページ)は、「外部入力」を選ぶ ●「自動録画 OFF」を選ぶと、(在宅)自動録画も留守録画※もされません。 ※ VL-SW130K/SV130K/SW150K の場合の機能

カメラの機能を変える（機能設定一覧表）（つづき）

カメラの機能（つづき）

設定変更は、21、22 ページの手順に従ってドアホン親機または子機（VL-W600/W602）で行ってください。カメラが複数台あるときは、それぞれのカメラに対して個別に設定できます。

□ のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

<table>
<tr><th>機 能</th><th>機能の概要と設定内容</th></tr>
<tr><td>人感センサー感度</td><td>人感（熱）センサーの感度を選ぶ
［標準］、低
● 正面方向の検知距離は、「標準」で約 5 m、「低」で約 2 mになる（周囲温度：約 20 ℃時）
● センサーが反応しすぎるときは「低」を選ぶ
● 本機裏面の「人感（熱）センサー感度切替スイッチ」との組み合わせで次の４通りの感度を選ぶことができます。
検知距離のめやす（周囲温度：20 ℃時）
・ 詳細は（☞ 56 ページ）
<table>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">人感（熱）センサー感度</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>標準（お買い上げ時設定）</td><td>低</td></tr>
<tr><td rowspan="2">カメラ
背面スイッチ</td><td>高</td><td>約 6 m</td><td>約 3 m</td></tr>
<tr><td>低（お買い上げ時設定）</td><td>約 5 m</td><td>約 2 m</td></tr>
</table>
● 設定が「標準」で背面スイッチが「高」のとき（約 6 m）は、撮影範囲より、センサーの検知範囲が幅広くなるため、人物などが映らないことがあります。
また、風などで誤検知がおきやすくなります。</td></tr>
<tr><td>カメラマイク感度</td><td>モニター中や通話中に、ドアホン親機または子機から聞こえるカメラ側の音の大きさを選ぶ
［大］、中、小、切
●「切」を選ぶとカメラからの音は聞こえない</td></tr>
<tr><td>カメラ受話音量</td><td>ドアホン親機または子機との通話時に、カメラから出る音声の大きさを選ぶ
［大］、中、小</td></tr>
<tr><td>ランプ表示</td><td>カメラのランプを常に点灯させるときは「常時」、モニターや通話時のみ点灯させるときは「通信時」、消灯させておくときは「消灯」を選ぶ
［常時］、通信時、消灯</td></tr>
<tr><td>ズーム</td><td>カメラからの映像を拡大するかしないかを選ぶ
［標準］、拡大（約 1.6 倍）</td></tr>
<tr><td>露出補正</td><td>カメラ周辺が暗くなると設定した露出補正値に従って画質を調整します。ここでは、その露出補正の度合いを選びます。
（映像が暗くなる）−3、−2、−1、［0（標準）］、＋1、＋2、＋3（映像が明るくなる）
（被写体が映りにくくなる）　　（映像が白っぽくなったり、ぶれやすくなる）</td></tr>
<tr><td>上下反転表示</td><td>本機では、この設定は機能しません。
する、［しない］</td></tr>
<tr><td>設定の初期化</td><td>カメラ設定を、お買い上げ時の状態（初期値）に戻す
はい、［いいえ］</td></tr>
</table>

● 人感（熱）センサーの感度または、センサー反応時の「検知前撮り」設定や、LED ライトの点灯のしかたを変えたいとき

➡「人感（熱）センサー感度切替スイッチ」「検知前撮りスイッチ」「LED ライト切替スイッチ」で設定変更してください。（☞ 12 ページ）

カメラからの呼出音の大きさを変える

カメラからの呼出音量を調整します。呼出音は「切」にすることもできます。

● **下記の操作手順は、VL-SW130K/SV130K/SW150K を例に説明しています。**
その他のドアホン親機や子機の場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

カメラ着信中に呼出音量を変える

1 カメラからの着信中（約30秒間）に

【機能】を押し、【▼】【▲】で呼出音量の項目を選ぶ

明るさ
呼出音量

2 **【◀】【▶】で音量を変更する**

【▶】押して大きく　【◀】押して小さく

■ **カメラの呼出音量を「切」（鳴らさない）にするには**

「ピピッピピッ」と鳴るまで【◀】を押し続ける

➔【▶】を押すと解除

3 終わったら、

【機能】を押す

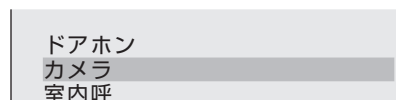
待ち受け中に呼出音量を変える

カメラの呼出音量は下記の操作でも変更できます。

1 **【機能】を押し、【▼】【▲】で 親機 を選ぶ**

機能設定
親機
カメラ

2 **【決定】を押し、【▼】【▲】で 呼出音量 を選ぶ**

3 **【決定】を押し、【▼】【▲】で カメラ を選ぶ**

ドアホン
カメラ
室内呼

4 **【決定】を押し、【▼】【▲】で音量を選ぶ**

● 選んだ音量で呼出音が鳴る
- 「切」は「ピピッピピッ」と鳴る

5 **【決定】を押す**

● 「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

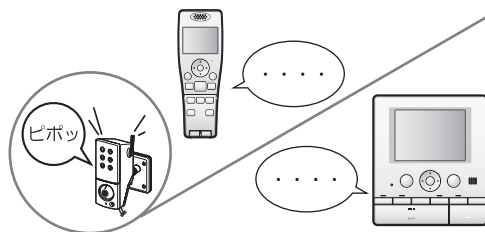
6 終わったら、

【終了】を押す

カメラからの着信をしないようにする

〔人感(熱)センサーと LED ライトのみ動作させる〕

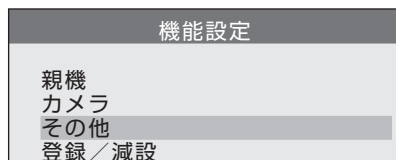
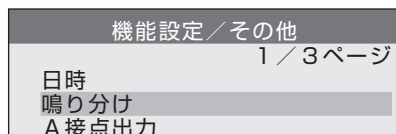
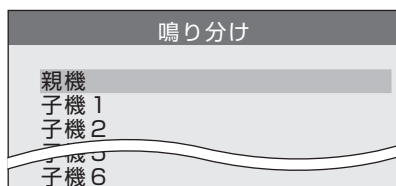
下記の設定で、ドアホン親機や子機ごとに、着信させたくないカメラを「鳴らない」にしてください。

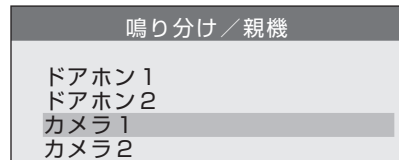
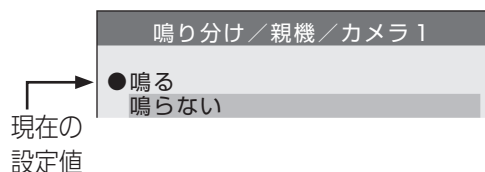
- お買い上げ時の設定：すべて「鳴る」
- 「鳴らない」にしたカメラからは着信しなくなりますが、人感(熱)センサーと LED ライトは設定どおりに動作します。また、ドアホン親機には録画されます。

- **下記の操作手順は、VL-SW130K/SV130K/SW150K を例に説明しています。**
  その他のドアホン親機や子機の場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

1 【機能】を押し、【▼】【▲】で その他 を選ぶ

機能設定
親機
カメラ
その他
登録／減設

2 【決定】を押し、【▼】【▲】で 鳴り分け を選ぶ

機能設定／その他
1／3ページ
日時
鳴り分け
A 接点出力

3 【決定】を押し、【▼】【▲】で鳴り分けを設定する室内機器を選ぶ

4 【決定】を押し、【▼】【▲】で着信させたくないカメラを選ぶ

鳴り分け／親機
ドアホン 1
ドアホン 2
カメラ 1
カメラ 2

5 【決定】を押し、【▼】【▲】で 鳴らない を選ぶ

6 【決定】を押す

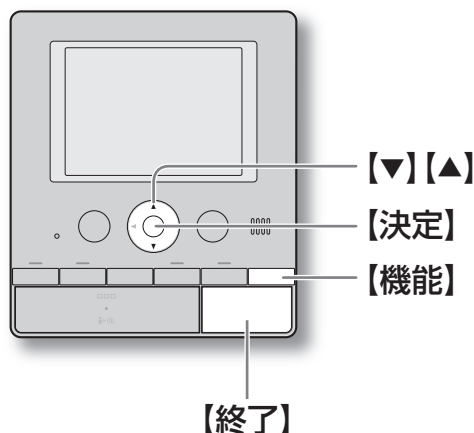
- 「ピー」と鳴り、手順4の画面を表示

7 終わったら、【終了】を押す

- 通話中、室内通話中、室内呼び出し中またはモニター中の着信には、鳴り分け設定がはたらきません。（上記の設定を「鳴らない」にしたカメラからも着信します。）

カメラを使わなくなったとき（減設）

ドアホン親機で下記の操作を行い、使わなくなったカメラの登録を解除してください。

VL-SW130K/SV130K/SW150Kから減設する場合

1 【機能】を押し、【▼】【▲】で **登録/減設** を選ぶ

機能設定

親機
カメラ
その他
登録／減設

2 【決定】を押し、【▼】【▲】で **減設** を選ぶ

3 【決定】を押し、【▼】【▲】で **カメラ減設** を選ぶ

減設

子機減設
カメラ減設
中継アンテナ減設
ワイヤレスアダプター機能解除

4 【決定】を押し、【▼】【▲】で減設するカメラ番号を選ぶ

（例：カメラ2を減設）

カメラ減設

カメラ１
カメラ２
カメラ３

5 【決定】を押す

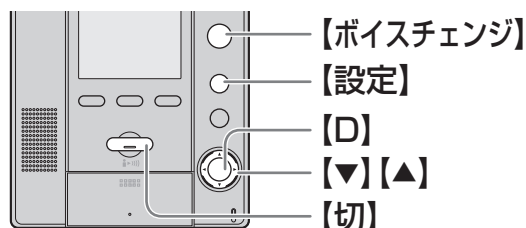
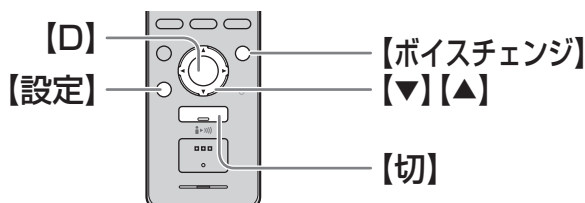
6 終わったら、

【終了】を押す

●誤動作防止のため、減設したカメラの電源は切ってください。

カメラを使わなくなったとき（減設）（つづき）

● VL-SW100(M)K/SW102(A)K/SW104K/SV104K/SW105Kから減設する場合 ●

● VL-SW100K/SW100MK をお使いの場合は、子機（VL-W600）で操作してください。
（子機 VL-W602 を増設した場合は、VL-W602 でも操作できます。操作のしかたは VL-W602 の取扱説明書をご覧ください。）

ドアホン親機

子機（VL-W600）

1 機能設定の画面が出るまで、
【設定】を約 3 秒間押す

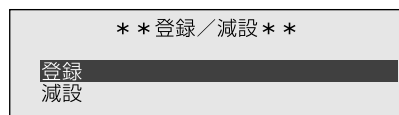
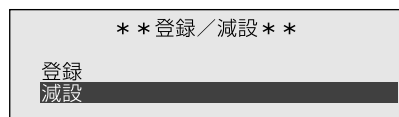
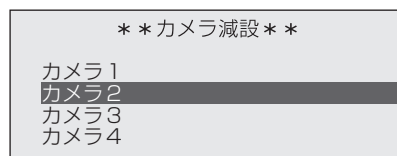
● 下の画面は、ドアホン親機での表示です。

2 **【ボイスチェンジ】を 3 回押す**

3 **【▼】【▲】で 減設 を選ぶ**

4 **【D】を押し、**
【▼】【▲】で カメラ減設 を選ぶ

5 **【D】を押し、**
【▼】【▲】で減設するカメラを選ぶ

6 **【D】を押す**

● 設定が完了すると、「ピーッ」と鳴る

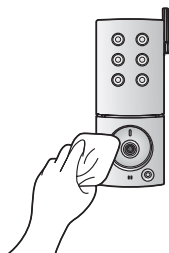
7 **【切】を押す**

● 誤動作防止のため、減設したカメラの電源は切ってください。

お手入れ

お手入れするときは、電源を切り、カメラをスタンドから外してください。
〔電源が入っていると、人感(熱)センサーが反応してLEDライトが点灯します。〕

柔らかい布で、からぶきする

● 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固くしぼってふいてください。

● アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯は使わないでください。また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。
(変色、変質の原因になります。)

仕様

電　源	AC 100 V（50 Hz / 60 Hz）
消費電力	待ち受け時：約 1.5 W 動作時　：約 10 W（LED ライト点灯時） 　　　　：約 2 W（LED ライト消灯時）
外形寸法（高さ×幅×奥行）（アンテナ突起部除く）	232 mm × 90 mm × 102.5 mm（スタンドなし時） 232 mm × 90 mm × 230 mm　（スタンド取付時）
質　量	約 1040 g（本体のみ）
取付方法	付属の壁付けスタンドを使用
使用環境条件	周囲温度：－ 10 ℃～＋ 50 ℃ 湿度：20 ～ 90 %
外観材質	PC ＋ ABS 樹脂、アルミニウム
通信可能距離	約 100 m（ドアホン親機との見通し距離）
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
撮像素子	1/4 型 CCD センサー（30 万画素）
出力画像	JPEG 圧縮コマ送り画像
最低被写体照度	1 ルクス※1
焦　点	固定（2 m ～ ∞）
撮影範囲（撮像範囲）	水平：約 50°　垂直：約 37°
センサー検知方式	焦電型赤外線センサー
センサー検知範囲	水平：約 55°　垂直：約 20°　距離：約 5 m （周囲温度：約 20 ℃時）
LED ライト※2	白色 LED 6 個
防水性	防雨構造(JIS C 0920 防水保護等級 3)※3
取付角度調整	水平：約± 90°　垂直：約± 45°

※ 1　機能設定「露出補正」を「+3」に設定したときで、被写体の有無が確認できるレベルです。
※ 2　正面 5 m で約 7.5 ルクス、正面から左右 20° /5 m で約 2.3 ルクス
※ 3　鉛直から 60°の範囲の降雨によって、有害な影響を受けない程度の防水性能。

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、下記の確認と処置を行ってください。

症　状	確認と処置
車が通るたびに反応する（5 m 以上離れている）	●車のマフラーやボンネットは温度が高いため、5 m 以上離れていても反応します。 ➡ 極力、車道の方向にカメラを向けないように設置場所を変更するか、角度を下げるなどして設置してください。 また、「センサー範囲調整キャップ」を取り替えて、車道の方向を隠れるように調整してください。（☞ 54 ページ）
正面方向から近づいてくる人を検知できない	●まっすぐ正面から近づいてくる人物は検知しにくくなります。 ➡ 正面方向から人物が近づいてこないようにカメラの設置場所を変更するか、別売の外部人感センサーを使用するなどして、極力、正面方向から人物が移動してこないようにしてください。
人が通っていないのに人感（熱）センサーが反応する	●換気扇やエアコンの室外機、給湯器などから吹き出る風や、風で動くような植木や洗濯物などがあると、人が通っていなくても反応することがあります。 ➡ カメラの設置場所を変えてください。 また、「センサー範囲調整キャップ」を取り替えて、検知させたくない場所が隠れるように調整してください。（☞ 54 ページ）
人感（熱）センサーが誤動作する	●カメラを下記のような場所に設置すると、人感（熱）センサーが誤動作することがあります。 • 直射日光のあたるところ • 冷暖房室外機の近くなど、温度変化の激しいところ • 油汚れがついたり、蒸気がかかるところ • 携帯電話など強い電波を発する製品の近く • 外灯の真下など、周囲の温度が高くなるところ • 検知範囲に洗濯物、カーテン、植木、車などの動くものがあるところ • 検知範囲内に、交通量の多い道路があるところ ●犬、猫など、小動物に対しても反応することがあります。 ●冬場など、気温が低いと検知距離（5 m）が長くなり、検知しすぎることがあります。 「人感センサー感度」の設定が「標準」になっている場合は、「低」にすると検知感度が下がります。（☞ 24 ページ） ●人感（熱）センサー検知範囲に雨や雪が入ると検知することがあります。 ●ドアホン親機の「人感センサー感度」の設定を「標準」、カメラ裏面の人感（熱）センサー感度切替スイッチを「高」にすると、風や撮影範囲外で反応しやすくなります。 ➡ ドアホン親機またはカメラの感度設定を「低」にしてください。

症　状	確認と処置
人感(熱)センサーが反応しない	●お買い上げ時の設定では、センサー反応の間隔は約 60 秒です。呼び出しに応答した場合は、応答終了後の約 60 秒間は次の反応を行いません。(☞ 23 ページ) ●前方にガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物があるところに設置すると反応しないことがあります。 ●カメラ正面からの動きを検知するようになっていませんか？ ➡ 正面からの動きは検知しにくくなりますので、カメラを横切るように設置してください。(☞ 9 ページおよび、添付のちらし「本機を設置する前に必ずお読みください」) ●気温が人の表面温度に近くなっていませんか？ ➡ 夏場など、気温が高いと検知しにくくなります。また冬場など、厚手の服を着ていると検知しにくくなります。「人感センサー感度」の設定が「低」になっている場合は、「標準」にすると検知感度が上がります。(☞ 24 ページ) ●人感(熱)センサーに雪が付くと検知しないことがあります。 ●「センサー種別」の設定を「人感」以外にしていませんか？ ➡ 「人感」に設定してください。(☞ 23 ページ) ●ドアホン親機の「人感センサー感度」の設定が「低」でセンサー範囲調整キャップ「1」、「2」、「3」を使用すると、検知できなくなることがあります。 ➡ 「人感センサー感度」の設定を「標準」にしてください。(☞ 24ページ)
映像がはっきりしない • 焦点が合わない	●カメラのレンズカバーが汚れていませんか？ ➡ レンズカバーを柔らかい乾いた布でふいてください。(☞ 29 ページ)
映像が白っぽくなる	●ドアホン親機や子機の明るさボタンで、適切な明るさに調整してください。 ●夜間など、カメラ周辺が暗いときの映像が白っぽいときは、「露出補正」の設定をプラス側にしすぎています。 ➡ ドアホン親機で「露出補正」の設定をマイナス側に調整してください。(☞ 24 ページ) ●背景に白い壁などがあると、夜間に撮影した映像の最初の数枚が白っぽくなることがあります。 • 人感(熱)センサー反応時：最初の 3 ～ 4 枚目まで • カメラモニター時：最初の 1 枚目のみ ➡ 上記以降の映像は、自動で補正されます。
人の顔などが暗く映って、見えにくい	●カメラの周囲が暗いときは、被写体が暗くなります。 ➡ • ドアホン親機で「露出補正」の設定をプラス側に調整してください。(☞ 24 ページ) それでも暗いときは、補助灯の設置をお勧めします。 • 検知前撮りスイッチが「入」の場合に撮影された画像は、4 枚中の 1 枚目だけが暗くなることがあります。 ●カメラの設置場所に強い日ざしが差し込んでいるときや逆光のとき、または黒いものなどをモニターするときは、被写体が暗くなります。
映像が適切な明るさにならない	●カメラの設置場所の明るさが、急激に変化していませんか？ ➡ 約 3 秒ほどお待ちください。自動で補正されます。

故障かなと思ったとき（つづき）

症　状	確認と処置
映像が乱れる または 映像の更新が遅い （約５秒以上かかる）	●カメラがドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➡ドアホン親機の近く、または障害物のない場所にカメラを移動してください。 移動できないときは、中継アンテナ（別売）を設置すると改善できることがあります。 ●近くで電子レンジや無線 LAN 機器などを使っていませんか？ ➡カメラをドアホン親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。
音声が途切れる または、 ほとんど聞こえない	●カメラがドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➡ドアホン親機の近く、または障害物のない場所にカメラを移動してください。 移動できないときは、中継アンテナ（別売）を設置すると改善できることがあります。 ●近くで電子レンジや無線 LAN 機器などを使っていませんか？ ➡カメラをドアホン親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。
LED ライトが点灯しない	●LED ライト切替スイッチを「切」にしていませんか？ ➡「入（夜間）」または「入（常時）」にしてください。 （☞ 12 ページ） ●夜間、周囲が外灯の光などで明るくありませんか？ ➡LED ライト切替スイッチが「入（夜間）」のときは、周囲が暗くならないと LED ライトが点灯しません。外灯の光などが本機にあたらないようにしてください。
人感（熱）センサーが 反応しにくくなった	●人感（熱）センサーの表面が汚れていませんか？ ➡表面を柔らかい乾いた布でふいてください。（☞ 29 ページ）
人がいるのに人物がまったく、 またはほとんど映っていない	●下記のような場合、うまく撮影できないことがあります。 • センサーの検知範囲の境界付近にいる人などの動き • カメラの前をゆっくり、または小走りで横切った人などの動き • カメラの近く（約 1 m 付近）を左右に横切った人などの動き
カメラに接続できない	●カメラがドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➡ドアホン親機の近く、または障害物のない場所にカメラを移動してください。 移動できないときは、中継アンテナ（別売）を設置すると改善できることがあります。 ●近くで電子レンジや無線 LAN 機器などを使っていませんか？ ➡カメラをドアホン親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。

工事説明

■工事は、お買い上げの販売店に依頼されることをお勧めします。
■工事をされる方へ

正しく、安全にご使用いただくための工事・設置方法について記載しています。
よくお読みのうえ、工事の手順に従って正しく設置してください。

- 電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。
- 工事終了後は、必ず本書をお客様にお渡しください。

工事の手順

下記の項目をよく読む

- 安全上のご注意(☞ 3～5、35、36 ページ)
- 設置上のお願い(☞ 37、38 ページ)
- 各部のなまえとはたらき(☞ 11、12 ページ)
- 添付のちらし「本機を設置する前に必ずお読みください」

▼

次のことを確認する

- 設置場所の電波状態(☞ 37 ページ)
- 本体裏面カバー内の
  - ・各種スイッチの設定(☞ 12 ページ)
  - ・外部入力端子の仕様(☞ 38 ページ)

▼

カメラをドアホン親機に登録する
(☞ 39、40 ページ)

必ず、設置の前に行ってください。

▼

カメラを設置する
(☞ 41～53 ページ)

▼

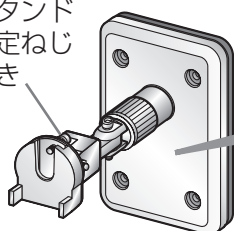
人感(熱)センサーが正しく動作するか確認する
正しく動作しないときは(☞ 30～32、54～56 ページ)

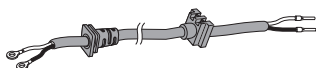
付属品・添付品の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

付属品

□ 壁掛けスタンド.................. 1 個

スタンド固定ねじ付き

※スタンドの前面にあります。

□ 予備電源ケーブル.............. 1 本
- AC100 V 電源線を直結するときに使用します。（☞ 43、49 ページ）

□ 落下防止ワイヤー.............. 1 本
- 電源プラグ接続で使用する場合は、必ず取り付けてください。（☞ 46、49 ページ）

□ ワイヤー本体側固定ねじ ... 1 本
(3 mm × 8 mm)

□ ワイヤー壁側固定ねじ....... 1 本
(4 mm × 20 mm)

□ ワイヤー壁側固定ワッシャー... 1 個

□ スタンド取付用ねじ........... 4 本
(3.5 mm × 25 mm)

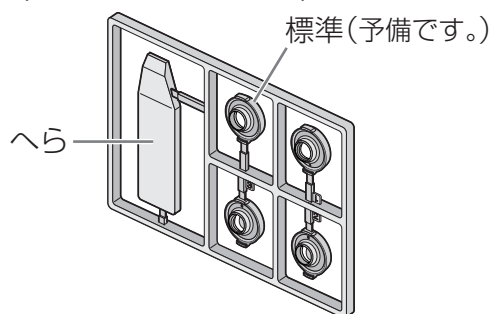
□ 丸端子(大・小) ....各 2 個
- 電源線を直結するときに使用します。（☞ 43 ページ）

（大）　（小）

□ 六角レンチ .... 1 本
- カメラをスタンドに固定するときに使用します。（☞ 47、48、52、53 ページ）

□ センサー範囲調整キャップ.... 1 式
- 人感(熱)センサーの検知範囲を調整する場合に使用します。（☞ 54、55 ページ）

標準(予備です。)

へら

- へらおよび使用しなかったキャップは、再度、調整するときのために大切に保管してください。

添付品

☑ 取扱説明書(本書).............. 1 冊

□ カメラ作動中ラベル.......... 1 枚
- カメラ本体の前面には貼らないでください。

□ 増設番号シール.................. 1 枚

□ 保証書 .... 1 式

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

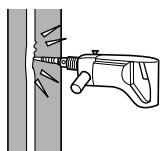
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

■設置･配線工事の際の壁への穴あけや、電源コードを固定する際は、屋内配線･屋内配管を傷つけない

禁止

漏電・感電・火災などの原因になります。

■不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けない

（石こうボード･ALC（軽量気泡コンクリート）･コンクリートブロック・厚さ 2.5 cm 以下のベニヤ板など）

禁止

落下により、けがの原因になります。

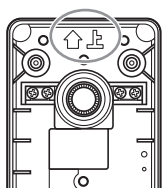
■壁への取り付けは堅固・確実に行う

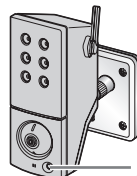
取り付けが不完全だと、落下により、けがの原因になります。

■AC100 V の電源直結工事は資格を持つ者が行う

感電の原因になります。

●電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。販売店へご相談ください。

■スタンドは「⇧上」の表示が上側になるように取り付ける

上記以外の向きで取り付けると、内部に雨水などが入り、火災・感電の原因になります。

■カメラは人感(熱)センサーが下側になるように取り付ける

上記以外の向きで取り付けると、内部に雨水などが入り、火災・感電の原因になります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

■電源(AC100 V)を入れたまま配線工事をしない

禁止

感電の原因になります。

■雷のときは配線工事をしない

禁止

火災・感電の原因になります。

■電源コードを窓やドアなどにはさみ込まない

禁止

電源コードに傷がつくと、ショートによる火災・感電の原因になります。

■指定以外の端子に電源(AC100 V)を接続しない

禁止

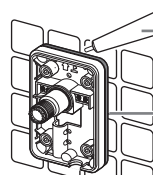
ショートして火災・感電の原因になります。

■指定以外の機器は接続しない

禁止

火災・感電の原因になります。

■タイル面など、取付面に凹凸がある場合は、すきまを埋める

（スタンド外周部のゴムパッキンと取付面のすきまに、防水シール剤などを塗る）

防水が不完全な場合、火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

■屋外配線する場合は、雷サージ保護のため、避雷器を取り付けるか、保護管を使用して埋設配線する

感電の原因になることがあります。

■土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない

禁止

絶縁劣化により、感電の原因になることがあります。

■土中埋設配線する場合、電源コードや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をする

感電の原因になることがあります。

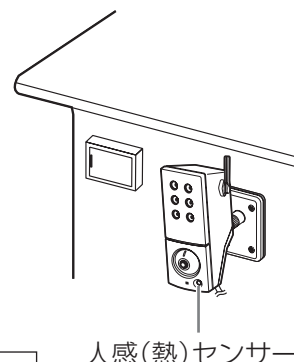
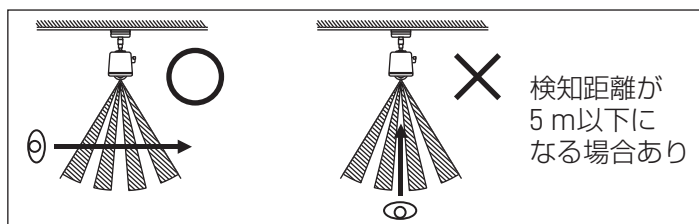
設置上のお願い

設置するとき

電波が届く場所であることを確認(☞ 下記)のうえ、軒下など直射日光や風雨が直接あたりにくい場所に設置してください。
また、設置の際は、次の点にご注意ください。

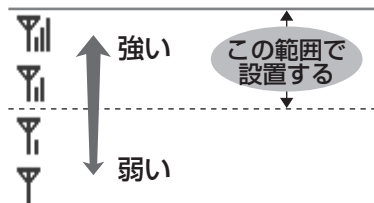
人感(熱)センサー

- 使用上のお願い(☞ 6 ～ 10 ページ)を確認してください。
- 天井には、取り付けないでください。
- カメラの前を人が横切るような場所に設置してください。

〔人感(熱)センサーは横からの動きによる温度変化を検知しやすく、正面からの動きは検知しにくくなります。**詳しくは、9 ページおよび、添付のちらし「本機を設置する前に必ずお読みください」をご覧ください。**〕

- カメラの向きは、人感(熱)センサーが必ず下側になるように取り付けてください。
(画像が逆になります。)
- 隣家と近接した場所に設置するときは、LED ライトの光や音が隣の家に迷惑をかけないようにカメラ角度を調整してください。(☞ 47、48、52、53 ページ)

設置場所の電波状態を確認する

子機を使って、カメラの設置場所にドアホン親機からの電波が安定して届くかを確認してください。

子機を設置場所まで持って行き、アンテナマークを確認する

- 電波が弱い場所では、室内と通信できなかったり、音の途切れや映像の乱れで使えないことがあります。
- 上記の場合、中継アンテナで改善できることがありますが、設置は**全体で 2 台まで**です。
(☞ 40 ページ)

工事するとき

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
  (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)に容易に手が届くこと。
  (2) 3.0 mm 以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
  ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 本機は電気設備技術基準による施工を行ってください。
  - 使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁(電源線とその他の信号配線材の間)を設ける。
  - 金属ボックスを使用する場合は D 種接地を行う。
  - 配線材は AC600 V 以上の絶縁電線を使用する。
- 屋外設置で電源プラグを使用するときは、本機の近くに屋外用の電源コンセントや電源ボックスを設置してください。(電源プラグは防水対応ではありません。)
  ※電源コンセントや電源ボックスの設置については、配線工事業者へご相談ください。
- 空中配線はしないでください。(カメラが雷などの影響を受けることがあります。)

設置上のお願い（つづき）

外部入力端子について

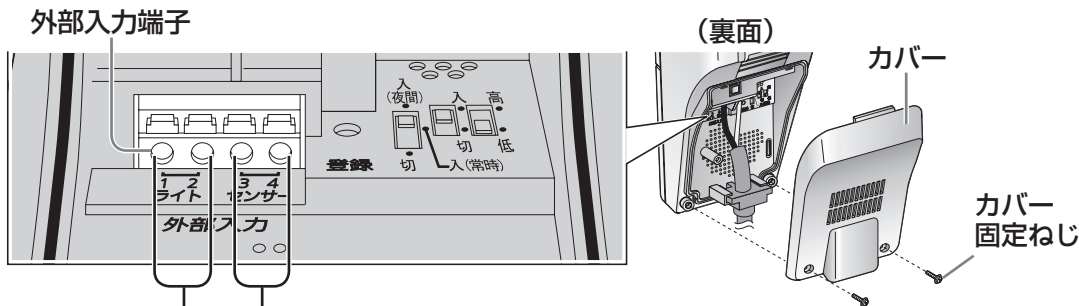
LED ライトスイッチ端子と外付けセンサー端子があります。必要に応じてご使用ください。
●各端子への接続は、電源を切り、カメラをスタンドから外した状態で行ってください。

外付けセンサー端子

本機の人感（熱）センサーを使わず、下記のような外付けの人感センサーを使うときに使用します。

外部人感センサー（推奨品：動作確認済み）

竹中エンジニアリング（株）製	品番：MS-100A（AC100 V 配線が必要）

●設置は、推奨品に付属の説明書に従い、確実に行ってください。
●設置位置の参考例は、添付のちらし「本機を設置する前に必ずお読みください」をご覧ください。
●この端子に機器を接続したときは、カメラ機能の「センサー種別」の設定を「外部入力」に変更してください。（☞ 23 ページ）
本機の人感（熱）センサーは、はたらかなくなります。

LED ライトスイッチ端子

本機の LED ライトを手動で入 / 切できるスイッチを使うときに使用します。

●下記「外部入力端子の仕様」「線種と配線距離」の記載に合った機器を接続してください。

外部入力端子の仕様

「LED ライトスイッチ端子」…開放時電圧：約 13 V
短絡時電流：約 11 mA（短絡時ライトが点灯）
「外付けセンサー端子」…開放時電圧：約 4 V
短絡時電流：約 4 mA（短絡 / 開放 連続 0.1 秒以上で検知）

線種と配線距離

下表の線種・配線距離以外で使用されると、動作不良の原因になります。

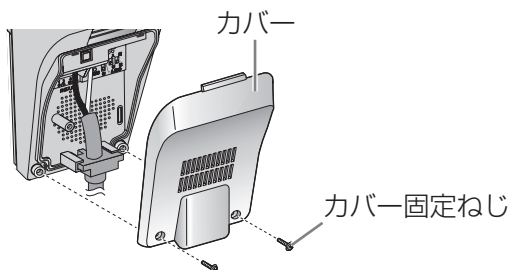
配線区間	線　種	配線距離
LED ライトスイッチ端子～接続機器	単芯線（mm）：ϕ 0.65 ～ ϕ 0.8	100 m 以内
外付けセンサー端子～接続機器	単芯線（mm）：ϕ 0.65 ～ ϕ 0.8	接続する機器の仕様に従う（ただし、20 m 以内）

カメラをドアホン親機に登録する（増設）

下記の操作でドアホン親機に登録（増設）したあと、カメラを設置してください。

● 登録したカメラの使用をやめるときは、減設操作（☞ 27、28 ページ）を行ってください。

■ **増設操作を始める前に、カメラ裏面のカバーを外してください。**

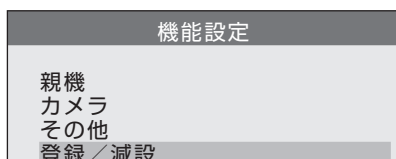
● 前面のレンズカバーを傷つけないよう、柔らかい布などを下に敷いてから行ってください。

増設するカメラをドアホン親機に近づけ、ドアホン親機の操作に続けて、約 2 分以内に操作してください。

ドアホン親機で登録の準備をする

1

■VL-SW130K/SV130K/SW150K の場合

❶【機能】を押す

❷【▼】【▲】で 登録/減設 を選ぶ

機能設定
親機
カメラ
その他
登録／減設

❸【決定】を押し、【▼】【▲】で 登録 を選ぶ

❹【決定】を押し、【▼】【▲】で カメラ を選ぶ

❺【決定】を押し、【▼】【▲】で 増設するカメラ番号を選ぶ

❻【決定】を押す

【2 分以内で次ページの手順 2 へ】

■VL-SW102(A)K/SW104K/SV104K/SW105Kの場合

❶ 機能設定の画面が出るまで、【設定】を約 3 秒間押す

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

❷【ボイスチェンジ】を 3 回押す

＊＊登録／減設＊＊
登録
減設

❸【▼】【▲】で 登録 を選ぶ

❹【D】を押し、【▼】【▲】で 子機／カメラ を選ぶ

＊＊登録＊＊
子機／カメラ
中継アンテナ

❺【D】を押す

【2 分以内で次ページの手順 2 へ】

■VL-SW100(M)Kの場合

❶ 待ち受け中に、【切】を押したまま、【通話】を約 5 秒間押す

● 登録ランプが点滅する

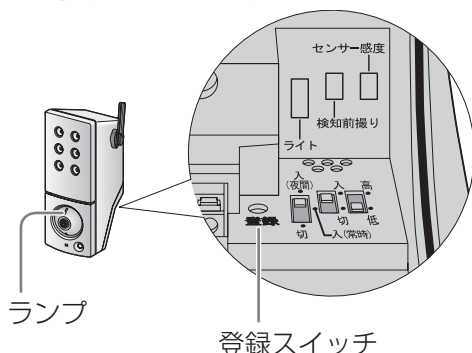
【2 分以内で次ページの手順 2 へ】

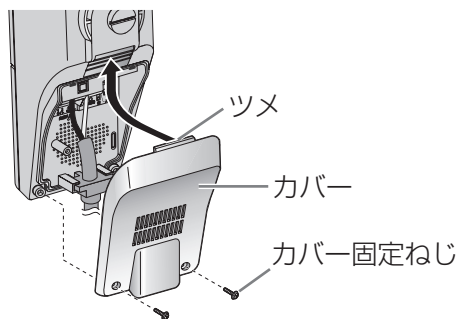
（次ページにつづく）

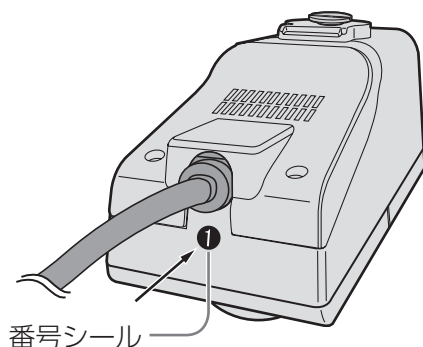
カメラをドアホン親機に登録する（増設）（つづき）

増設するカメラで登録の操作をする

2 電源を入れた状態で、先端の細いものを使って、
登録スイッチを約 3 秒間押す

- カメラのランプが緑点滅する
- 登録が完了すると「ピー」と鳴り、ランプが点灯に変わる
- 登録に失敗すると「ピッピッピッ」と鳴り、ランプが赤点滅する
  ➡ 手順 1 からやり直す

3 終わったら、
カバーを取り付ける

- カバーのツメを先に入れて、カバー固定ねじ(2 本)で固定する

4 **付属の増設番号シールを貼る**

- **VL-SW130K/SV130K/SW150K の場合**
  ➡ 登録したカメラの番号シールを貼る
- **上記以外の機種の場合**
  ➡ 増設した順に番号シールを貼る

5 ドアホン親機の**【終了】または【切】を押す**

- VL-SW100(M)Kの場合、この手順は不要です。

- 登録完了後は、正しく登録できているかカメラモニターしてみてください。（☞ 14 ページ）
- 登録完了後に LED ライトが点灯することがあります。LED ライトを直視しないでください。

カメラの登録台数と制限事項について

１台のドアホン親機に登録できるカメラは、**4台まで**
（カメラ「VL-W800」「VL-W810K」使用時は、合わせて４台まで）
その他に下記の制限があります。よくお読みのうえ、増設してください。

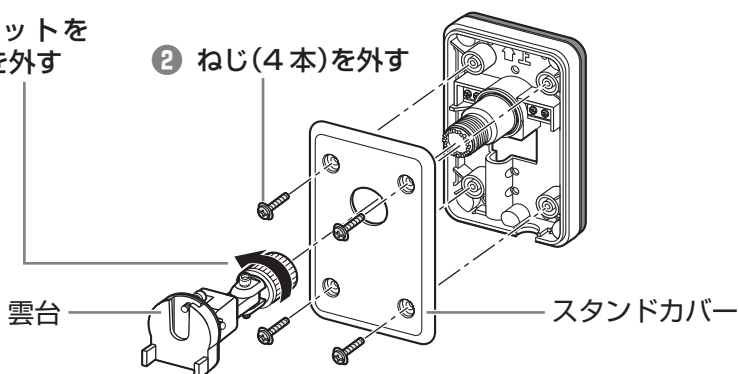
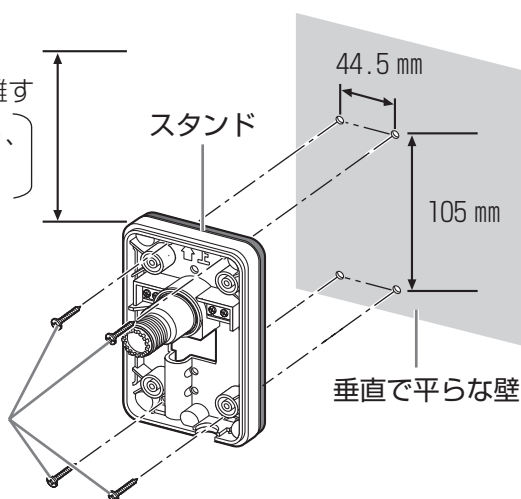
■ 利用できる中継アンテナ（KX-FAN1）は、全体で 2 台まで

中継アンテナを利用する場合、カメラ 1 台につき１台必要ですが、すでに子機や他のカメラで中継アンテナを２台利用している場合、それ以上設置できません。**カメラの設置場所を決める際は、必ず電波状態を確認して（☞ 37 ページ）、電波が安定して届く場所に設置してください。**

■ VL-SW104K/SV104K/SW105K に、カメラを 3 台以上登録する場合

子機（VL-W600）でカメラと通話またはモニター中に、別のカメラが反応しても、室内への呼び出しができないことがあります。

カメラを設置する

1 スタンドカバーを外す

2 スタンドを壁面に確実に取り付ける

● 壁への取り付け例
（☞ 42 ページ）

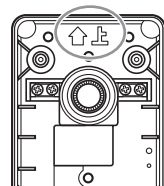
⚠ 警告

■ 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けない

（石こうボード・ALC（軽量気泡コンクリート）・コンクリートブロック・厚さ 2.5 cm 以下のベニヤ板など）

禁止

落下により、けがの原因になります。

■ スタンドは「⇧上」の表示が上側になるように取り付ける

上記以外の向きで取り付けると、内部に雨水などが入り、火災・感電の原因になります。

（次ページにつづく）

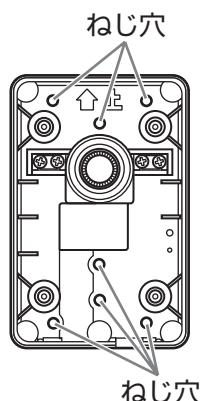
カメラを設置する（つづき）

壁への取り付け例

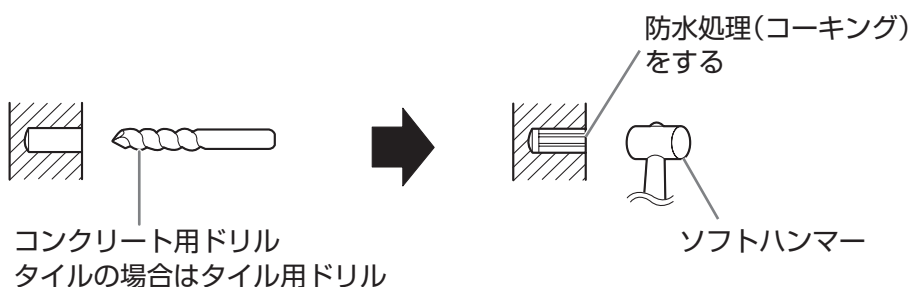
（例）材質がモルタルやコンクリートの場合

❶ **取り付け位置にスタンドを合わせる**

❷ **使用するねじ穴（上下各２か所）にスタンド取付用ねじを軽くねじ込み、壁にしるしを付ける**

❸ **しるしに合わせて下記のように穴をあけ、アンカー（市販品）を差し込む**

〔スタンド平面図〕

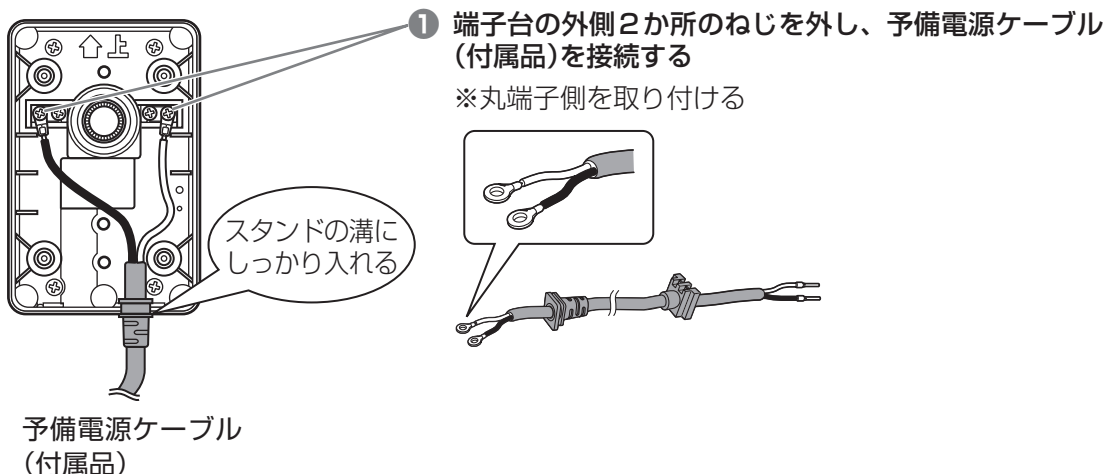
● ねじ穴は７か所あります。使いやすい穴を上下２か所ずつ（計４か所）固定してください。ねじ穴部の壁は薄いので、スタンド取付用ねじを軽くねじ込むとあきます。

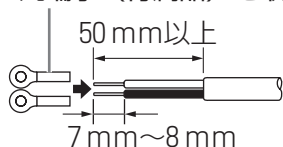
1. アンカーのサイズに合わせて、穴をあける
2. アンカーを差し込む（ソフトハンマーで軽くたたく）

- 壁にあけるドリルの径の大きさは、購入したアンカーの説明書を参照してください。
- 市販品のアンカーを購入する際は、本機に付属のスタンド取付用ねじ（3.5 mm × 25 mm）に対応していることを確認してください。
- 工事は販売店に依頼されることをお勧めします。壁への穴あけ工事について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- モルタル塗壁の場合は、穴あけにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴あけをしてください。

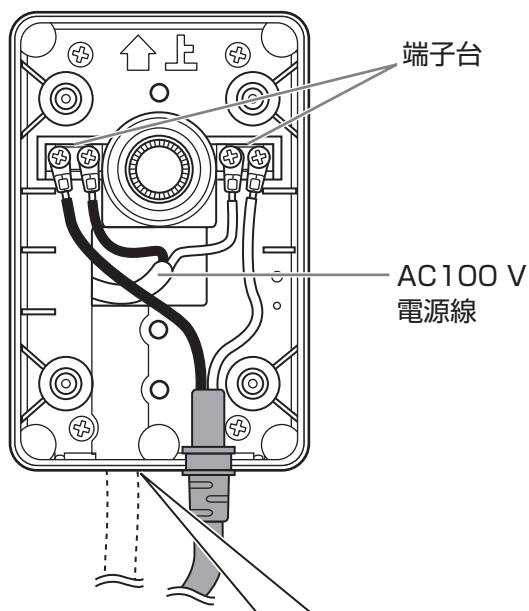
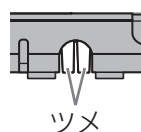
3 [AC100 V 電源線を直結する場合のみ]

スタンドに電源線を接続する　電気工事士の資格が必要

❶ **端子台の外側２か所のねじを外し、予備電源ケーブル（付属品）を接続する**

※丸端子側を取り付ける

❷ **端子台に AC100 V 電源線を接続する**

1. 被ふくを 7 mm ～ 8 mm むく
（線種：φ 1.6 およびφ 2.0 単芯線）
2. 丸端子（付属品）を取り付ける※

※ 電源線の線径に合わせて、丸端子（大または小）をお使いください。

3. 端子台の内側 2 か所のねじを外し、電源線を確実に接続する

■結線は確実に行う

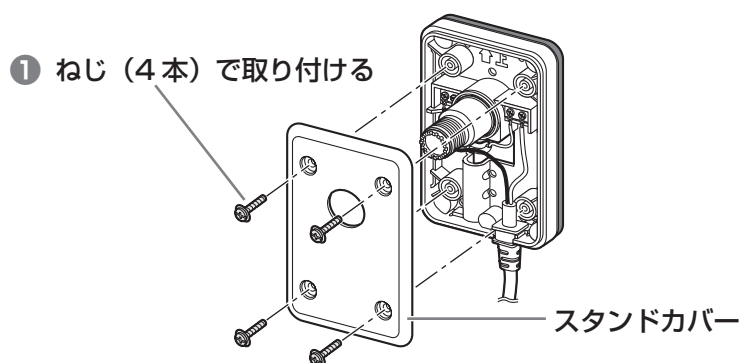
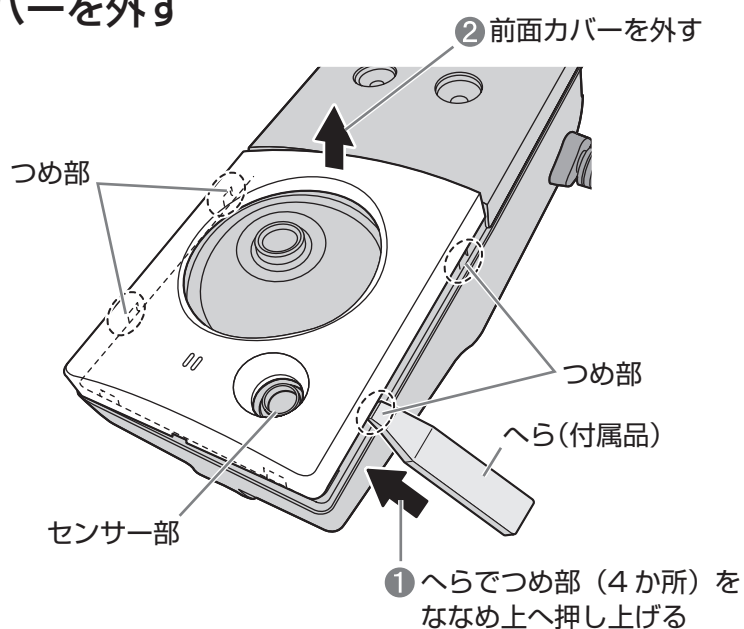
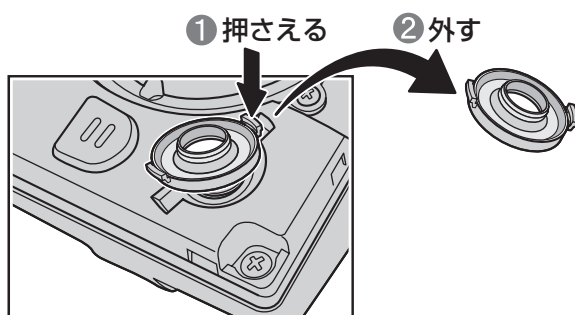
結線が不十分な場合、発熱の原因になることがあります。

（次ページにつづく）

カメラを設置する（つづき）

4 スタンドカバーを取り付ける

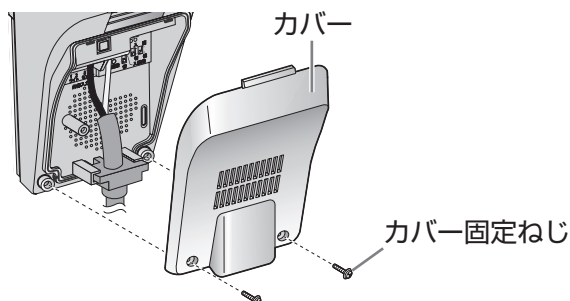
5 前面カバーを外す

❷ 前面カバーを外す
つめ部
つめ部
へら（付属品）
センサー部
❶ へらでつめ部（4 か所）をななめ上へ押し上げる

6 センサー範囲調整キャップを外す

電源プラグで使用する場合
45 ページへ

AC100 V 電源線を直結する場合
49 ページへ

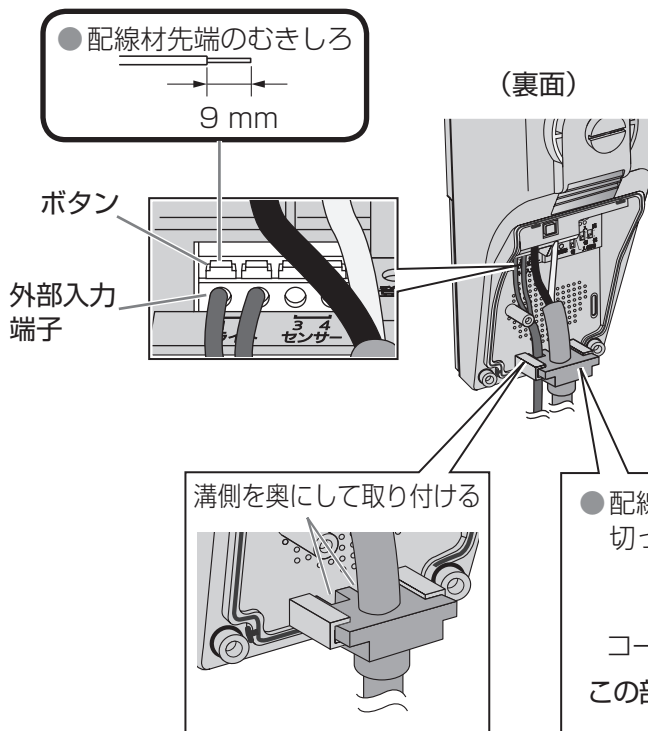
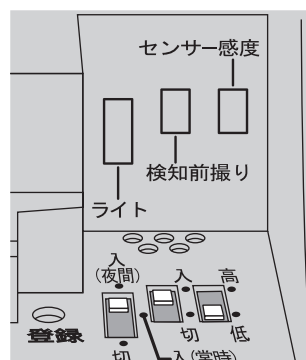
電源プラグで使用する場合

7 カバーを外す

- カバーを外す際に前面のレンズカバーを傷つけないよう、柔らかい布などを下に敷いてから行ってください。

8 スイッチを確認して、配線材を接続する（外部入力機器がある場合のみ）

❶ 「LED ライト切替スイッチ」、「検知前撮りスイッチ」、「人感（熱）センサー感度切替スイッチ」の設定を確認する（☞ 12 ページ）

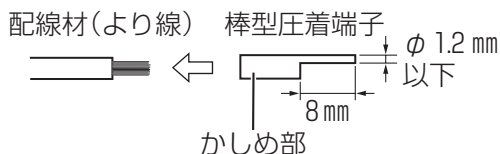
❷ 「外部入力端子」に配線材を接続する

- 「外部入力端子について」（☞ 38 ページ）に従って正しく接続してください。
- **配線材の抜き差しは、各端子の上にあるボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。**

- 配線材はコードブッシングの下部を切って通してください。

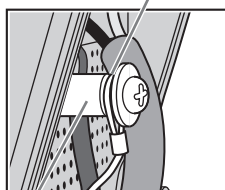
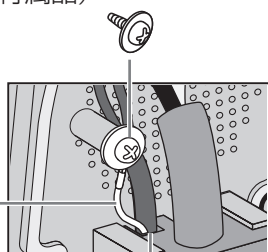
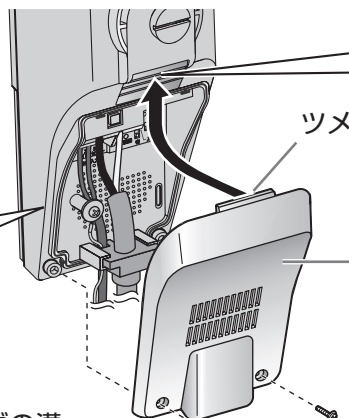
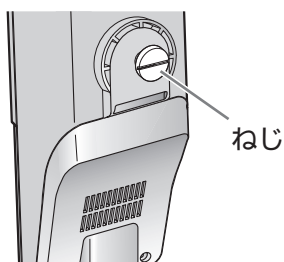
- 配線材の線種が「より線」の場合は、棒型圧着端子（市販品）を取り付けてから接続してください。（配線材の隣りどうしがショートしないようにしてください。）

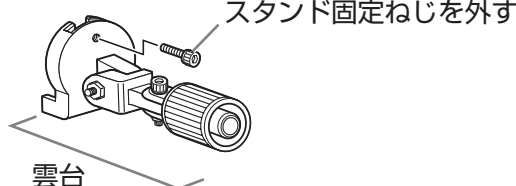
工事説明

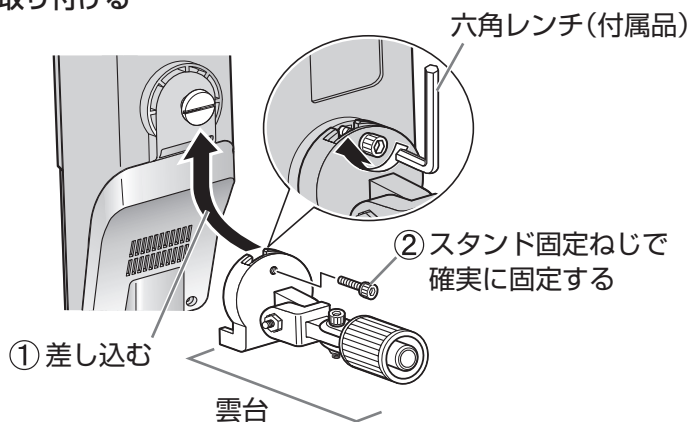
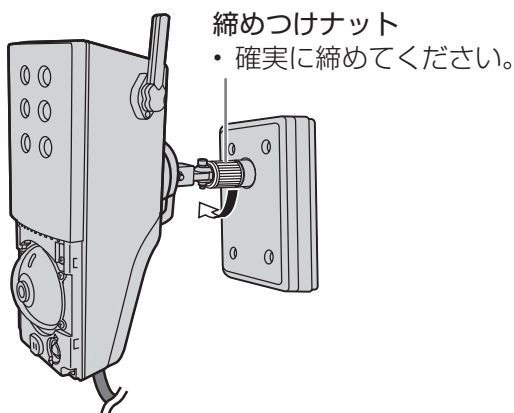
カメラを設置する

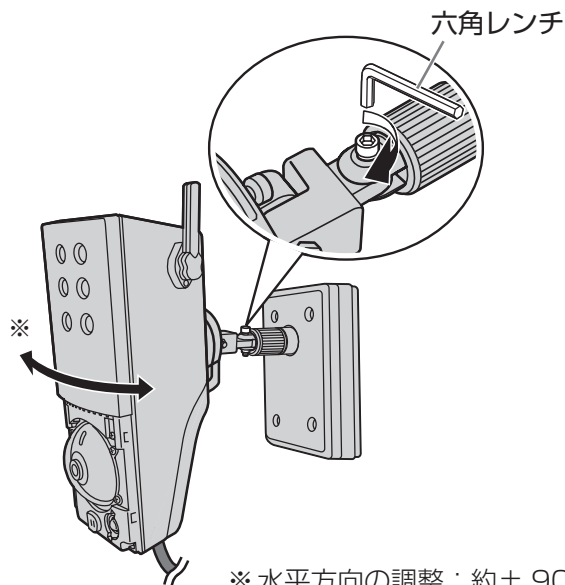
（次ページにつづく）

カメラを設置する（つづき）

9 落下防止ワイヤーを取り付け、カバーを取り付ける

❶ 落下防止ワイヤー（付属品）を取り付ける
- コードブッシングの溝に通す
- ワイヤーはワイヤー本体側固定ねじとボスの間にはさんで固定してください。

❷ カバーを取り付ける
- ツメを先に入れてからカバー固定ねじ（2 本）で固定する

10 カメラを取り付け、角度を調整する

❶ 裏面のねじが確実に締まっているか確認する

❷ 雲台よりスタンド固定ねじを外す

❸ 雲台をカメラに取り付ける

❹ 締めつけナットを回してカメラをまっすぐにスタンドに固定する

❺ カメラの左右方向の角度を調整し、六角レンチでねじを締めて確実に固定する

● モニターしたい位置が映っているか、確認しながら調整してください。

※水平方向の調整：約± 90°

（次ページにつづく）

カメラを設置する（つづき）

❻ カメラの上下方向の角度を調整し、六角レンチでねじを締めて確実に固定する

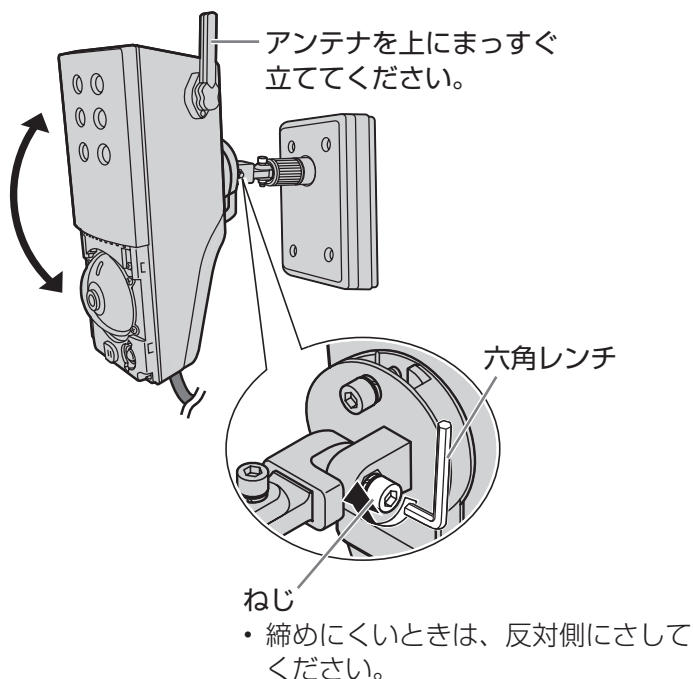
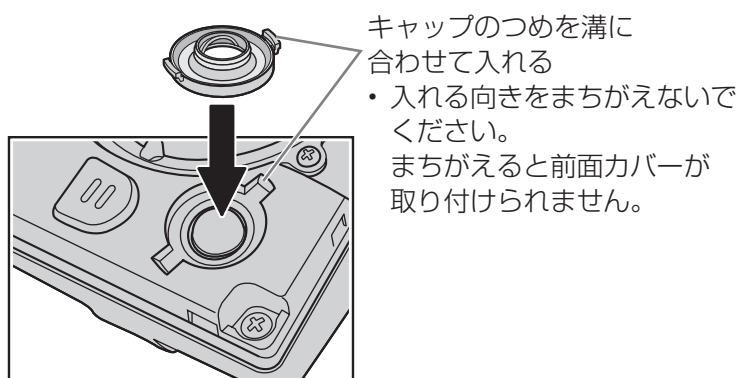
●モニターしたい位置が映っているか、確認しながら調整してください。

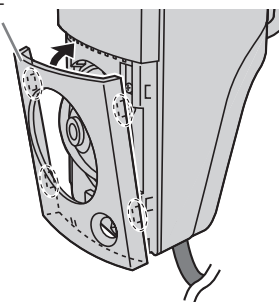
※垂直方向の調整：
上方20°、下方50°
（約10°きざみで調整できます。）
・上方に20°以上傾けると落下防止ワイヤーが壁側に取り付けできません。

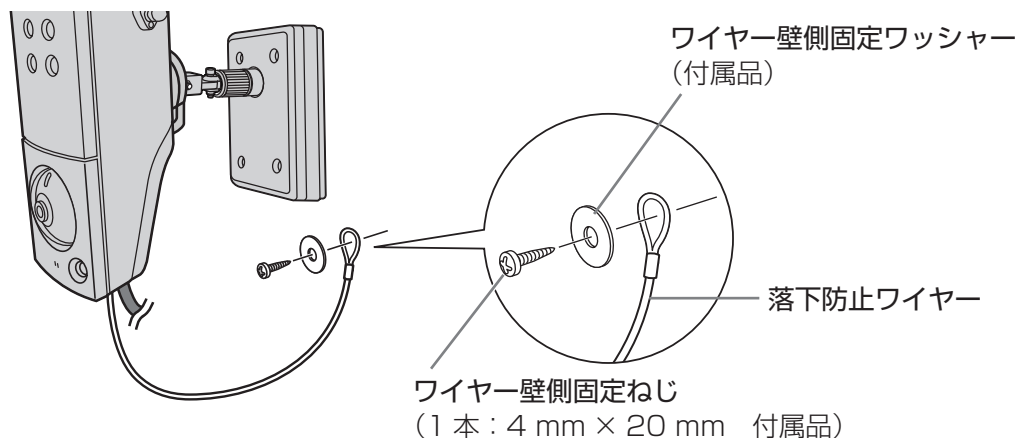
ねじ
・締めにくいときは、反対側にさしてください。

❼ センサー範囲調整キャップを取り付ける

・ご希望のセンサー範囲調整キャップを取り付けてください。（☞ 54、55 ページ）

キャップのつめを溝に合わせて入れる
・入れる向きをまちがえないでください。
まちがえると前面カバーが取り付けられません。

❽ 前面カバーを取り付ける

「カチッ」と音がするまで押す

❾ 落下防止ワイヤーを壁面に確実に固定する

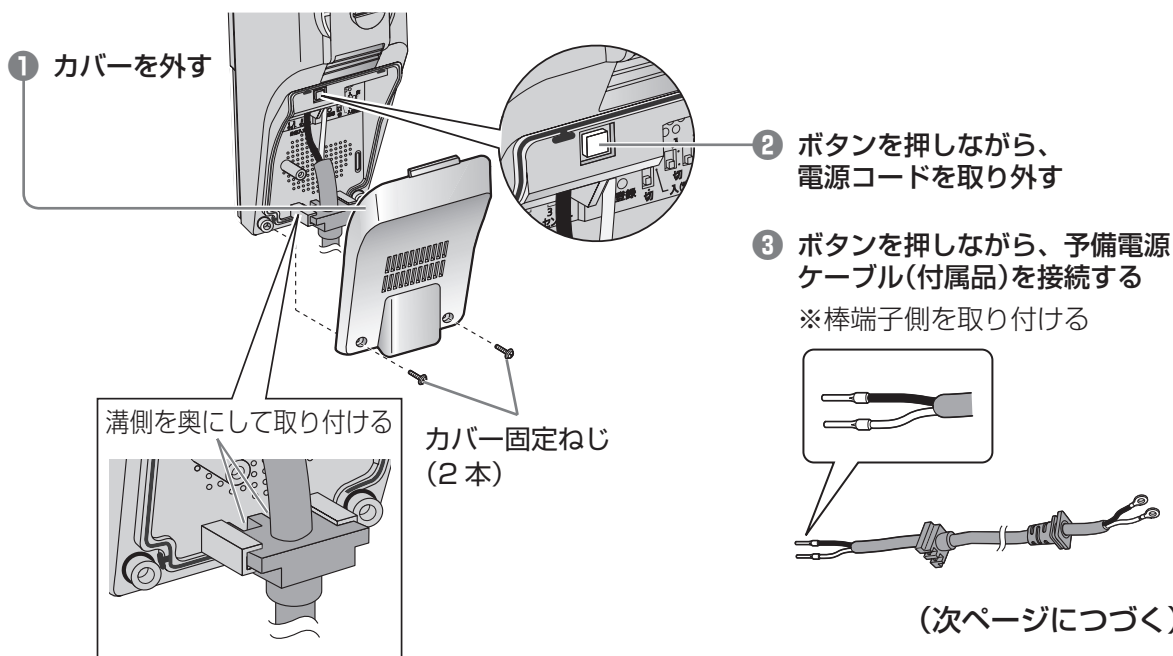
・壁面の材質がモルタルやコンクリートの場合は、アンカーを使用し、確実に固定してください。（☞ 42 ページ）

●スタンドにぶらさがったり、カメラ以外のものを固定しないでください。

11 電源プラグをコンセント(AC100 V)に差し込む

AC100 V 電源線を直結する場合

7 カメラに電源線を接続する　電気工事士の資格が必要

●カバーを外す際に前面のレンズカバーを傷つけないよう、柔らかい布などを下に敷いてから行ってください。

（次ページにつづく）

カメラを設置する（つづき）

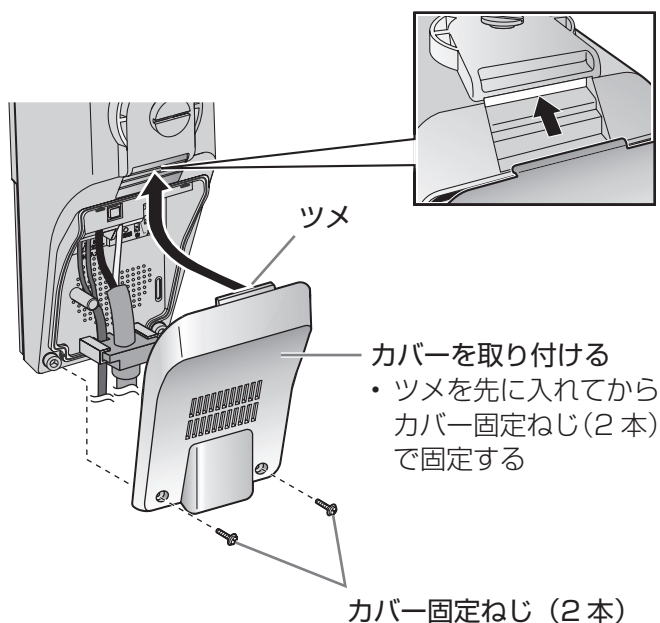
8 スイッチを確認して、配線材を接続する（外部入力機器がある場合のみ）

❶「LED ライト切替スイッチ」、「検知前撮りスイッチ」、「人感（熱）センサー感度切替スイッチ」の設定を確認する（☞ 12 ページ）

❷「外部入力端子」に配線材を接続する

- 「外部入力端子について」（☞ 38 ページ）に従って正しく接続してください。
- **配線材の抜き差しは、各端子の上にあるボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。**

- 配線材の線種が「より線」の場合は、棒型圧着端子（市販品）を取り付けてから接続してください。（配線材の隣りどうしがショートしないようにしてください。）

9 カバーを取り付ける

10 カメラを取り付け、角度を調整する

❶ 裏面のねじが確実に締まっているか確認する

❷ 雲台よりスタンド固定ねじを外す

（次ページにつづく）

カメラを設置する（つづき）

❸ 雲台をカメラに取り付ける

❹ 締めつけナットを回してカメラをまっすぐにスタンドに固定する

❺ カメラの左右方向の角度を調整し、六角レンチでねじを締めて確実に固定する

● モニターしたい位置が映っているか、確認しながら調整してください。

※水平方向の調整：約± 90°

❻ **カメラの上下方向の角度を調整し、六角レンチでねじを締めて確実に固定する**

●モニターしたい位置が映っているか、確認しながら調整してください。

❼ **センサー範囲調整キャップを取り付ける**

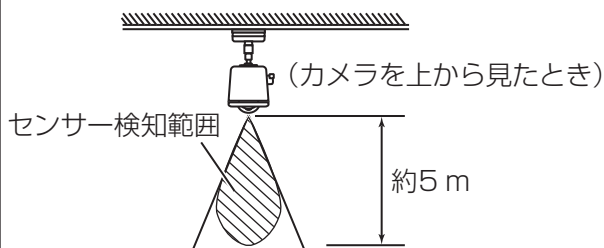
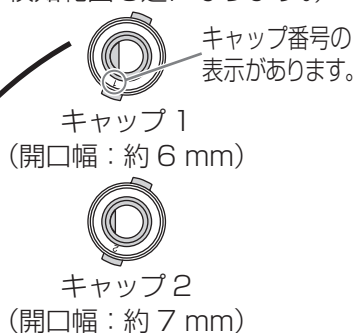
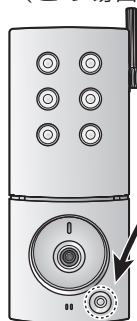
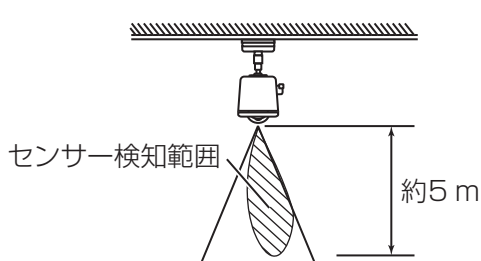
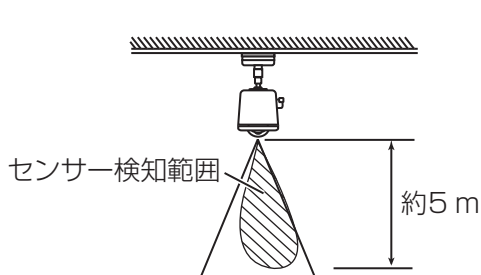
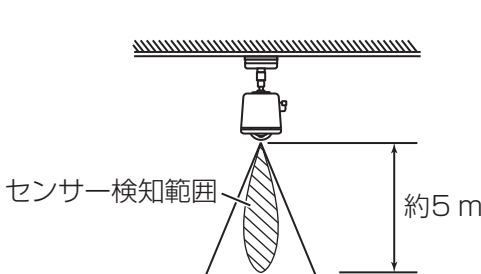
・ご希望のセンサー範囲調整キャップを取り付けてください。（☞ 54、55 ページ）

❽ **前面カバーを取り付ける**

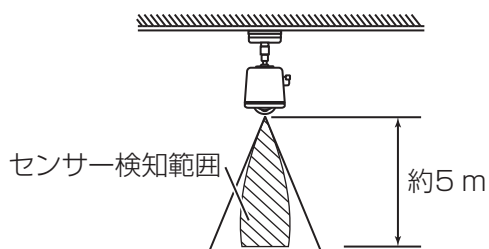
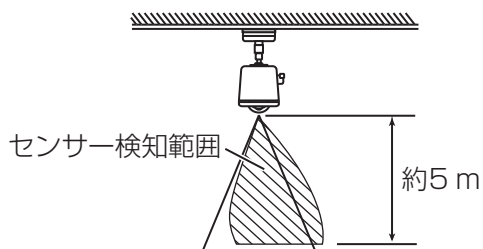
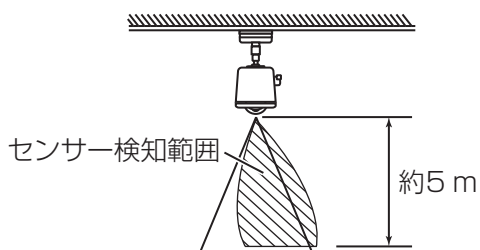
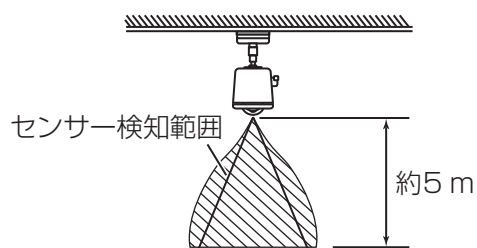
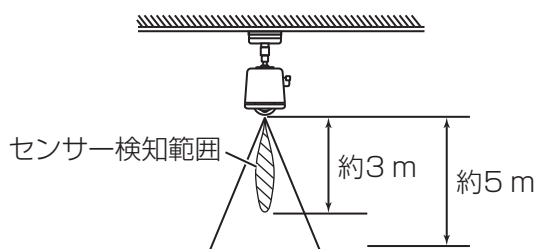
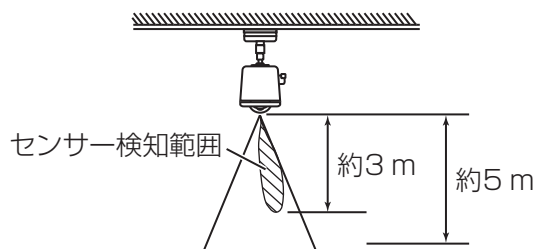
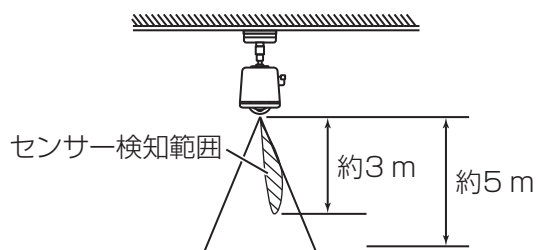
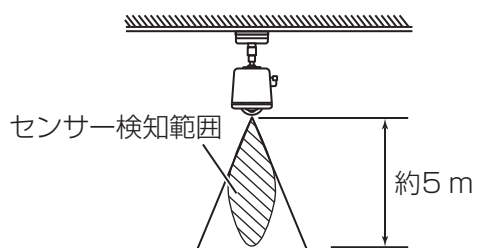
おねがい
●スタンドにぶらさがったり、カメラ以外のものを固定しないでください。

人感(熱)センサーの検知範囲を調整する

人感(熱)センサーで検知させたくない場合があるときに、付属のセンサー範囲調整キャップを使って以下のように検知範囲を調整することができます。
(ただし、カメラ設置場所の周囲温度や環境により検知範囲が変わります。)

● 以下の周囲温度による検知範囲は、あくまでもめやすです。
〔人感センサー感度:標準(☞ 24 ページ)、人感(熱)センサー感度切替スイッチ:低(☞ 12 ページ)のときの検知範囲です。〕

〔センサー範囲調整キャップ〕		〔周囲温度:20 ℃のとき〕
標準 (お買い上げ時に本体に装着)		(カメラを上から見たとき) センサー検知範囲 約5 m
● カメラから見て右側に隣家の壁または、道路などがあり、右側を検知させたくないとき ↓ 付属のキャップ 1 または、キャップ 2 を下図の向きに取り付ける ※ カメラから見て左側を検知させたくないときは、キャップ 1 または、キャップ 2 を逆向きに取り付けてください。 (この場合、右記の検知範囲も逆になります。) キャップ番号の表示があります。 キャップ 1 (開口幅:約 6 mm) キャップ 2 (開口幅:約 7 mm)	キャップ 1	センサー検知範囲 約5 m
	キャップ 2	センサー検知範囲 約5 m
● カメラから見て右側に隣家、左側に道路などがあり、どちらも検知させたくないとき ↓ 付属のキャップ 3 を下図のように取り付ける キャップ 3 (開口幅:中央)	キャップ 3	センサー検知範囲 約5 m

● キャップの取り外し・取り付け方法は(☞ 44 ページの手順 5、6、48 ページの❼、❽)

人感(熱)センサーの検知範囲を調整する

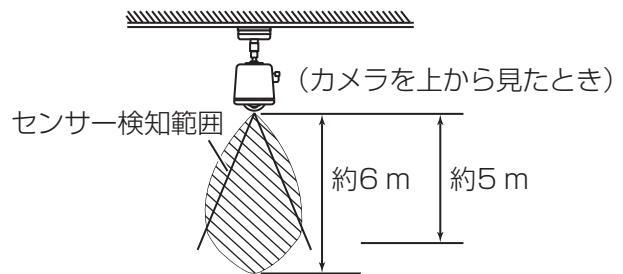
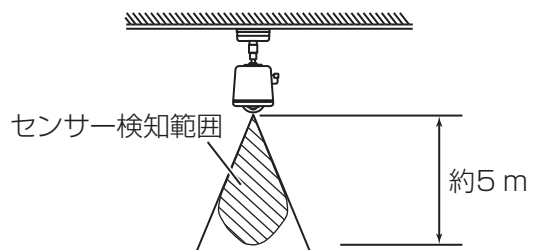
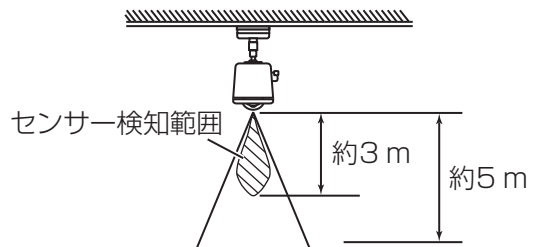
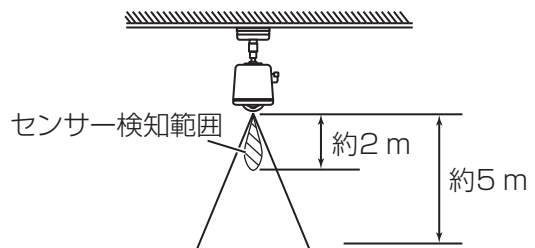
工事説明

人感(熱)センサーの感度切り替えについて

ドアホン親機の機能設定「人感センサー感度」とカメラ裏面の人感(熱)センサー感度切替スイッチを変更することにより、以下のようにセンサー検知範囲が変わります。

- センサー検知範囲は、あくまでもめやすです。
  カメラ設置場所の周囲温度や環境により検知範囲は変わります。

〔周囲温度：20 ℃時〕

■ ドアホン親機の機能設定
人感センサー感度：標準
カメラ裏面
人感(熱)センサー感度切替スイッチ：高

- カメラ設置場所の環境によってセンサーの感度を上げないと使用できないときに設定してください。
- この設定にすると、風や撮影範囲外で反応しやすくなります。

■ ドアホン親機の機能設定
人感センサー感度：標準
カメラ裏面
人感(熱)センサー感度切替スイッチ：低

■ ドアホン親機の機能設定
人感センサー感度：低
カメラ裏面
人感(熱)センサー感度切替スイッチ：高

■ ドアホン親機の機能設定
人感センサー感度：低
カメラ裏面
人感(熱)センサー感度切替スイッチ：低

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間:お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このセンサーライト付屋外ワイヤレスカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後 7 年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

30 ~ 32 ページの「故障かなと思ったとき」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は、**保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは、**修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ
品　番	VL-W811K
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

- 停電などの外部要因により発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/pcc/contact/inquiry/la_index.html

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号) **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日/受付9時~20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365** (パナは 365日)
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

保証とアフターサービス（よくお読みください）

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(018)831-7833
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0906

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検	長年ご使用のセンサーライト付屋外ワイヤレスカメラの点検を！		
	こんな症状はありませんか	● 電源を入れても動かないことがある。 ● こげくさい臭いや異常な音、振動がする。 ● 電源プラグやコードが熱を持っている。 ● その他の異常や故障がある。	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、電源を切って、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	電話（　　）　－

● 本機の製品情報をホームページで見ることができます。 http://panasonic.jp/door/
● Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ホームネットワークカンパニー

〒812-8531　福岡市博多区美野島４丁目１番62号

PFQX2672YA　S0906K1106

Panasonic®　センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ　VL-W811K　取扱説明書　工事説明付き